

令和3年度 事業報告書

目 次

令和3年度 事業報告書

1	事業概要	1
2	事業実施状況	3
	基本目標Ⅰ 包括的な支援体制の構築	
	推進項目1 地域における総合的な支え合い活動の創出	
	（1）市町村圏域における包括的支援体制の構築	3
	（2）ボランティア・市民活動と福祉教育の推進	17
	推進項目2 市町村における総合的な相談支援体制の強化	
	（1）権利擁護体制の構築	21
	（2）生活困窮者等への支援	27
	（3）社会福祉法人等の連携強化	36
	基本目標Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着	
	推進項目1 福祉人材の確保に向けた取組の強化	
	（1）福祉人材の確保に向けた取組の推進	51
	（2）福祉人材確保にかかる求人事業所・求職者への支援	54
	推進項目2 福祉人材の育成・定着に向けた取組の強化	
	（1）福祉人材の育成・定着に向けた取組の推進	64
	（2）階層別研修の充実	70
	基本目標Ⅲ 災害福祉支援体制の強化	
	推進項目1 災害に備えた体制の整備	
	（1）災害福祉支援ネットワークの機能強化	72
	（2）災害派遣福祉チーム（ぐんま DWAT）の機能強化	73
	推進項目2 災害ボランティア活動への支援	
	（1）多様な災害ボランティア関係団体との連携	77
	（2）災害ボランティアセンターの運営支援	78

推進項目 3 新型コロナウイルス等の感染症に対応した体制の整備	
（１）感染症発生時の社会福祉施設への支援	8 0
（２）感染症予防に向けた取組の強化	8 2

基本目標Ⅳ 県社協の組織基盤の強化

推進項目 1 組織体制の強化	
（１）人材育成の強化	8 3
（２）働き方改革の推進	8 4
（３）情報発信の強化	8 4
推進項目 2 経営基盤の強化	
（１）財政基盤の強化と既存事業の見直し	8 6
（２）ガバナンスの強化	8 6
（３）関係団体との連携強化	9 1

第 3 期 群馬県社会福祉協議会	
活動推進計画（2021 年度～2025 年度）評価一覧	9 3

令和3年度 事業報告書

1 事業概要

第3期活動推進計画に基づく4つの基本目標に沿って、SDGsの視点を踏まえながら「誰もが心豊かに暮らせる地域共生社会の実現」に向けて、各種事業を展開した。

特に、地域共生社会の実現を図るため、包括的支援体制の構築に向けた取組をはじめ、喫緊の課題となっている福祉人材の確保・育成・定着を進めるための福祉人材センターの機能強化、頻発している自然災害に迅速・的確に対応していくための災害福祉支援ネットワークの機能強化などに重点的に取り組んだ。さらに、with コロナやデジタル化など、新たな時代の要請に応えていくための取組にも努めた。

基本目標Ⅰ 包括的な支援体制の構築

地域共生社会の実現に向けて、市町村社協をはじめ、社会福祉法人・施設が連携・協働し、その中核的な役割を担うことにより、多くの市町村が重層的支援体制整備事業に移行できるよう、「包括的な支援体制のためのアドバイザー派遣事業」などの事業に取り組んだ。

また、市町村社協による法人後見の取組に対する支援をはじめ、コロナ禍で生活困窮に陥った方への支援、及びひきこもり状態にある方への支援を行った。

さらに、「群馬県ふくし総合相談支援事業」及び「福祉サービス第三者評価事業」の効果的な運営を図るため、それぞれ「あり方検討会」を設置し検討を重ねた。

基本目標Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着

福祉人材の確保・育成・定着を進めるため、福祉人材センターへ組織改正を行い、支所である福祉人材バンクや労働局、ハローワークをはじめとする関係機関との連携を強化した。

また、新たに「福祉のすそ野を広げる体験事業」や「保育士・保育所支援プロジェクト」に取り組むとともに、LINEを活用した情報発信やオンラインによる相談会、各種研修会の開催、及び各種修学資金の貸付を通じた福祉人材の担い手確保にも一体的に努めた。

基本目標Ⅲ 災害福祉支援体制の強化

平時からの関係者間の連携体制の強化や発災後の迅速な対応が可能となるよう、新たに災害福祉支援に専門的に従事する災害福祉支援専門幹を全国に先駆けて配置し、災害福祉支援活動の基盤強化や施設の事業継続計画（BCP）の策定支援、及び福祉避難所の受入体制と機能強化を図った。

さらに、福祉施設等で新型コロナウイルス等の感染症が発生した場合に、サービスや事業の継続を支えるための応援職員の登録による派遣体制を構築するとともに、コロナ禍における適切な避難所運営に向けて、新たに「ぐんまDWA T研修」や「行政・医療・保健分野と一体的に進める訓練」等を実施した。

基本目標Ⅳ 県社協の組織基盤の強化

県社協職員の専門性や資質の向上を図るため、増加している若手職員に対する研修の充実やOJT環境の整備に努めた。また、人材評価システムの運用に向けた試行的な取組やテレワーク業務環境の整備、オンラインによる研修会やセミナーの開催など、働き方改革の推進とコロナ禍における新しい生活様式を踏まえた各種取組を行った。

群馬県社会福祉協議会の社会福祉法人としての「地域における公益的な取組」の実施状況について

群馬県社会福祉協議会は、市町村社協をはじめ、社会福祉法人・施設と連携・協働して、地域共生社会の実現に向けた取組を展開していくため、県内を「県域」、「市町村域」、「各法人」の３層に分けて重層的な取組を進めている。

「県域」では「群馬県ふくし総合相談支援事業」を実施するとともに、「市町村域」においては「社会福祉法人連絡会」の設置をはじめ、小地域における「施設間連携」の推進、「各法人」に対しては協働した取組を進めるための「情報提供やノウハウの支援」を行うなど、県全体における包括的支援体制の構築に努めている。

2 事業実施状況

基本目標Ⅰ：包括的な支援体制の構築

推進項目1：地域における総合的な支え合い活動の創出

(1) 市町村圏域における包括的支援体制の構築

地域生活課題を住民の支え合いにより解決する仕組みづくりを推進した。

①住民の支え合い活動の育成

・生活支援体制整備事業

地域における生活支援等の支え合い体制を構築・推進するため、生活支援コーディネーターの研修、各市町村等からの事業推進に対する相談対応、ブロック別情報交換会等を実施することにより市町村の生活支援体制整備事業を支援した。

(ア) 生活支援コーディネーター養成研修

※講師等関係者の敬称は略

期日・場所等	内 容
1 日目 5 月 24 日 (web 開催) 参加者 75 名	行政説明「生活支援コーディネーター及び協議体とは」 説明 群馬県健康福祉課 健康長寿社会づくり推進課 補佐(係長) 高原 きよ美 講義 「生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割①」 説明 「地域ニーズと社会資源の把握の手法について(既存資源マップ)の記入について」 講師 群馬県新地域支援事業推進協議会 NPO 法人ハートフル 高橋 大吾 動画視聴と解説 セクション1・総論 「総合事業・整備事業が目指す自立支援とは」 セクション2・介護予防ケアマネジメント 「自立支援型の介護予防ケアマネジメントとは」 セクション3・社会的背景 「総合事業・整備事業が必要となる社会的背景」 セクション4・地域づくり 「“なじみの関係”を大切にしたい地域づくり」 セクション5・介護予防 「本人の“参加意欲”を重視した介護予防」 講師 群馬県新地域支援事業推進協議会 NPO 法人お互いさまネットワーク 理事長 恩田 初男
2 日目 5 月 31 日 (web 開催) 参加者 52 名	講義 「生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割②」 講師 群馬県新地域支援事業推進協議会 NPO 法人ハートフル 高橋 大吾 意見交換(グループ討議) ・事前作成シート ・地域ニーズと社会資源の把握の手法について(既存資源マップ)の活用 講師 群馬県新地域支援事業推進協議会 NPO 法人ハートフル 高橋 大吾

(イ) ブロック別情報交換会等

ブロック・期日等	内 容
中部ブロック 前橋市※ 4 月 22 日 (集合&web 開催) 参加者 11 名 5 月 20 日 (集合&web 開催) 参加者 11 名 6 月 23 日 (集合&web 開催) 参加者 9 名 7 月 29 日 (集合&web 開催) 参加者 10 名 8 月 31 日 (集合&web 開催) 参加者 9 名 9 月 30 日 (集合&web 開催) 参加者 12 名 10 月 29 日 (集合&web 開催) 参加者 11 名 11 月 29 日 (集合&web 開催) 参加者 11 名 12 月 20 日 (集合&web 開催) 参加者 8 名 2 月 18 日 (集合&web 開催) 参加者 8 名 3 月 24 日 (集合&web 開催) 参加者 9 名	[第 1 回] ・近況報告 (現状の取り組み) ・その他 [第 2 回] ・前橋市社協からの情報提供 ・前回からの経過報告について ・その他 [第 3 回] ・今後の情報交換の進め方について ・前回からの経過報告について ・その他 [第 4 回] ・テーマ「事業 (SC) の行政への報告書」について (担当 榛東村) ・その他 [第 5 回] ・前回テーマ (継続) ・緊急事態宣言の発令等の影響がある中での進捗状況について ・要支援者リストについて ・その他 [第 6 回] ・テーマ「第 1 層 SC からみえる SC 及び関係職員 (行政・社協等含む) との連携方法について」 (担当 渋川市) ・その他 [第 7 回] ・テーマ「見守り」 (担当 前橋市) ・その他 [第 8 回] ・テーマ「市町村毎の協議体の状況について」 (担当 伊勢崎市) ・その他 [第 9 回] ・テーマ「来年の取り組み課題」 (担当 玉村町) ・その他 [第 10 回] ・ブロック幹事会の報告について ・その他 [第 11 回] ・生活支援コーディネーター養成研修企画会議の内容について ・来年度の第 1 層 SC について ・令和 4 年度のブロック情報交換会について ・その他

※全て前橋市にて開催

ブロック・期日等	内 容
西部ブロック 4 月 20 日 安中市 参加者 20 名 5 月 19 日 (web 開催) 参加者 15 名 6 月 21 日 (web 開催) 参加者 19 名 7 月 26 日 安中市 参加者 15 名 8 月 23 日 (web 開催) 参加者 10 名 9 月 21 日 (web 開催) 参加者 13 名 10 月 27 日 安中市 参加者 13 名 12 月 3 日 富岡市 参加者 20 名 2 月 16 日 (web 開催) 参加者 14 名 3 月 30 日 南牧村 参加者 11 名	[第 1 回] ・ 自己紹介 ・ 新年度の情報交換会の方針決め ・ 新年度係決め ・ その他 [第 2 回] (グループ討議) ・ コロナ禍での事業実施状況と今後について ・ 近況報告や困りごとについて ・ その他 [第 3 回] ・ 協議体の構成メンバー ・ 行政の役割、連携 ・ 活動立ち上げ支援 ・ コロナ禍での参加方法 ・ 地域住民への SC の関わり方など ・ その他 [第 4 回] ・ 各市町村の現状について ・ 各市町村の近況や課題共有について ・ その他 [第 5 回] グループ討議) ・ 協議体・SC の設置経緯 ・ 住民に生活支援体制整備事業を説明するときの方法 ・ その他 [第 6 回] ・ 第 1 層で協議していること ・ 行政とのかかわり ・ その他 [第 7 回] ・ 生活支援体制整備事業状況確認表について ・ 西部ブロック情報交換会の今後について ・ その他 [第 8 回] 勉強会 ・ 「生活支援体制整備事業・生活支援コーディネーターの役割とその機能について」 講 師 高崎市第 1 層生活支援コーディネーター 目崎智恵子 [第 9 回] (グループ討議) ・ 来年度に行いたいこと [第 10 回] ・ 「生活支援体制整備事業状況確認表に基づく各市町村状況について ・ 来年度の西部ブロックの活動方針について ・ その他

ブロック・期日等	内 容
東部ブロック 6 月 28 日 (web 開催) 参加者 16 名	〔第 1 回〕 ・各市町村の現状について ・その他
利根・沼田ブロック 6 月 30 日 (web 開催) 参加者 15 名 9 月 15 日 (web 開催) 参加者 15 名	〔第 1 回〕 ・自己紹介 ・ブロック幹事について ・今後の方針について ・その他 〔第 2 回〕 ・企業との勉強会について ・その他
吾妻ブロック 5 月 28 日 (web 開催) 参加者 11 名 8 月 27 日 (web 開催) 参加者 11 名 10 月 5 日 長野原町 参加者 8 名 12 月 7 日 草津町 参加者 11 名 3 月 23 日 東吾妻町 参加者 8 名	吾妻郡内社会福祉協議会担当者会議内で実施 〔第 1 回〕 ・令和 3 年度活動方針について ・県内ブロック情報交換会について 〔第 2 回〕 ・生活支援体制整備事業の進捗状況について ・その他 〔第 3 回〕 ・各町村の状況について ・県内ブロック情報交換会について ・その他 〔第 4 回〕 ・各町村の状況について ・県内ブロック情報交換会について ・その他 〔第 5 回〕 ・ブロック幹事会の報告について ・各町村の課題について ・その他
ブロック幹事会 1 月 14 日 (web 開催) 参加者 19 名	・ブロック別情報交換会について、各ブロックの開催状況について ・情報交換 ・ブロック分科会～これまでの振り返り、今後について～ ・その他

(ウ) (新)生活支援体制整備事業アドバイザー派遣

派遣市町村・期日等	内 容
婦恋村 4月27日 参加者30名	協議体・関係者向け講演「住民主体の支え合い活動」 アドバイザー・講師 高崎市第1層生活支援コーディネーター ・公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業担当リーダー 目崎 智恵子
館林市 ①5月19日 (web開催) 参加者5名 ②6月10日 参加者15名	打ち合わせ・助言 住民向け講義「生活支援コーディネーターと協議体」 アドバイザー・講師 高崎市第1層生活支援コーディネーター ・公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業担当リーダー 目崎 智恵子
下仁田町 ①6月16日 参加者4名 ②2月8日 (web開催) 参加者4名	打ち合わせ・助言 打ち合わせ・助言 アドバイザー・講師 NPO 法人ハートフル 高橋 大吾
吉岡町 ①7月8日 参加者5名 ②8月13日 参加者5名 ③10月15日 参加者34名 ④11月19日 参加者40名 ⑤12月14日 参加者5名 ⑥12月23日 参加者28名 (集合開催)	打ち合わせ・助言 打ち合わせ・助言 民生委員・児童委員向け講義 「生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割」 住民向け講義 「生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割」 打ち合わせ・助言 住民向け講演「吉岡町の目指す姿」 アドバイザー・講師 認定 NPO 法人じゃんけんぽん 理事長 井上 謙一
玉村町 8月20日 【中止】※	住民向け講演会 「今、私たちにできる地域づくりとは～広げよう!!支え合いの輪」 アドバイザー・講師 認定 NPO 法人じゃんけんぽん 理事長 井上 謙一
大泉町 ①9月29日 参加者6名 ②11月25日 参加者35名	打ち合わせ・助言 住民向け講義 「生活支援体制整備事業における民生委員の役割について」 アドバイザー・講師 高崎市第1層生活支援コーディネーター ・公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業担当リーダー 目崎 智恵子

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

派遣市町村・期日等	内 容
中之条町 10月27日 参加者25名	住民向け講演 「生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割」 アドバイザー・講師 認定NPO法人じゃんけんぽん 理事長 井上 謙一
片品村 11月5日 参加者40名	生活支援コーディネーター、協議体構成員向け講義 「生活支援体制整備事業について～生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割～」 アドバイザー・講師 認定NPO法人じゃんけんぽん 理事長 井上 謙一
安中市 ①11月17日 参加者3名 ②12月17日 参加者13名	打ち合わせ・助言 生活支援コーディネーター、社協・行政職員向け講義 「生活支援コーディネーターの役割とその機能について」 アドバイザー・講師 高崎市第1層生活支援コーディネーター ・公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業担当リーダー 目崎 智恵子
神流町 10月18日 参加者20名	協議体向け講義「協議体の今までの振り返りと今後の活動について」 アドバイザー・講師 NPO法人ハートフル 高橋 大吾
藤岡市 1月11日 参加者4名 2月3日 【中止】※	打ち合わせ・助言 生活支援コーディネーター・行政職員向け講義 「協議体やSCの役割について・SCの活動・事例について」 アドバイザー・講師 高崎市第1層生活支援コーディネーター ・公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業担当リーダー 目崎 智恵子

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

・生活支援体制整備事業市町村社協情報交換会

期日・場所等	内 容
8月4日 701会議室 (web開催) 参加者51名	講義「生活支援体制整備事業における社協の役割～コロナ禍での地域活動の支援～」 講師 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉計画学科 准教授 菱沼 幹男 事例発表「コロナ禍での協議体活動と社協の支援」 発表者 草津町社会福祉協議会 主任 土屋 結紀 (生活支援コーディネーター)

・地域共生社会推進セミナー（事例検討会）

期日・場所等	内 容
1 月 31 日 (web 開催) 参加者 58 名	導入講義「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制づくりの考え方と関係者の役割」 事例検討「さまざまな生活の困りごとをもつ家族に対する包括的支援体制づくり」 振り返りとまとめ 講師 作新学院大学女子短期大学部 教授 坪井 真

・包括的な支援体制のためのアドバイザー派遣事業（地域共生社会アドバイザー）

派遣社協・期日等	内 容
甘楽町社協 ①10 月 20 日 参加者 8 名 ②12 月 21 日 参加者 25 名	(令和 2～3 年度モデル指定) 甘楽町社会福祉協議会 「小地域における住民の助け合い推進のためのボランティア及び有償ボランティアの組織化」 アドバイザー 高崎市第 1 層生活支援コーディネーター・ 公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業担当リーダー 目崎 智恵子 助言・打ち合わせ 秋畑協議体視察 (1) 災害時の連絡網について(グループ討議) (2) その他
伊勢崎市社協 1 月 26 日 (web 開催) 参加者 5 名 2 月 14 日 【中止】※	(随時派遣) 伊勢崎市社会福祉協議会 「地域共生社会実現に向けた社協地域部門と事業部門の統合による地域包括ケアシステム構築へのアドバイザー派遣・フォローアップ」 助言・打ち合わせ 事業所視察指導 アドバイザー 富士見町社会福祉協議会(長野県) 事務局次長 小林 功
桐生市社協 ①1 月 28 日 (web 開催) 参加者 6 名 ②2 月 24 日 (web 開催) 参加者 4 名 ③2 月 28 日 (web 開催) 参加者 54 名	(随時派遣) 桐生市社会福祉協議会 「制度の狭間にあるニーズへの包括的相談体制整備に向けてのアドバイザー派遣」 助言・打ち合わせ 助言・打ち合わせ 研修「桐生市・桐生市社協 断らない相談体制構築のための研修」 アドバイザー・講師 東京福祉大学社会福祉学部 准教授 北爪 克洋

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

・ふれあいいきいきサロン研修会

利根沼田ブロック 研修会内容の動画配信・DVD配布

動画配信期間等	内 容
3月29日 ～6月30日	撮影 レクリエーション演習「コロナ禍でもできるレクリエーション」 講師 レクリエーション協会 理事長 稲山 宏一 講義「コロナとカフェとサロン」 講師 みなかみ町今宿ふれあい・いきいきサロン 佐藤 誠

・ふれあいいきいきサロン活動調査（令和3年6月1日現在）

ふれあい・いきいきサロンの設置状況を把握するために調査を実施した。

年度	高齢者	障害者	子育て	その他	合計
2021	2,158	19	268	84	2,529
2020	2,162	24	236	65	2,487
2019	2,156	28	263	66	2,513

②包括的に生活課題を受け止め、住民主体による課題解決の仕組みの構築

・市町村社協トップセミナー（群馬県市町村社会福祉協議会会長会との共催）

期日・場所等	内 容
2月15日 (web開催&動画配信) 参加者91名	講演「地域共生社会における社協の基盤強化と戦略的な介護事業の経営に向けて」 講師 富士見町社会福祉協議会（長野県）事務局次長 小林 功 事例報告「伊勢崎市社協における地域づくり部門と介護保険部門の課題と連携について」 報告者 伊勢崎市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域づくり担当課長 行方 実由記 在宅福祉課 副課長 松本 美奈子

・地域福祉計画・地域福祉活動計画策定研修会（群馬県との共催）

期日・場所等	内 容
7月30日 (web開催) 参加者41名	講義「地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定手法の基本について」 講師 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉計画学科 准教授 菱沼 幹男

・地域福祉計画・地域福祉活動計画策定支援

みなかみ町・みなかみ町社会福祉協議会第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会にアドバイザーとして参加した。

期日・場所等	内 容
8月2日 参加者 20 名	第1回策定委員会 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 課長 松村 喜義
10月22日 参加者 14 名	第2回策定委員会 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 主幹 倉賀野 洋子
11月19日 参加者 15 名 みなかみ町	第3回策定委員会 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 主幹 倉賀野 洋子
1月21日 参加者 17 名 (職員はweb参加)	第4回策定委員会 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 課長 松村 喜義 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 主幹 倉賀野 洋子

・地域福祉に関する外部支援

期日・場所等	内 容
8月24日 (web開催) 参加者 50 名	コープぐんま学習会 講義「地域福祉について」 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 主幹 倉賀野 洋子

・(新)コロナ禍における新たな地域福祉の推進事業

助成額等	内 容
6社協に助成 546,661円 (上限1社協10万円)	沼田市社会福祉協議会「互近助守り隊」 渋川市社会福祉協議会「ボランティアの日事業」 神流町社会福祉協議会「フードドライブ及び見守り支援事業」 南牧村社会福祉協議会「給食サービス事業」 草津町社会福祉協議会「コロナ禍におけるNew Communication!」 片品村社会福祉協議会「コロナ禍における社協内デジタル環境(Wi-Fi環境等)整備事業」

・県社協会員福祉NPO代表者会議

期日・場所等	内 容
2月8日 (web開催) 参加者 5 名	講義「R4年度県民活動支援・広聴課ボランティア関係予算 及びNPOオンライン申請システムについて」 講師 群馬県生活子ども部 県民活動支援・広聴課 NPO・県民活動推進係 係長 関川 千恵美

・(新)市町村社協避難行動要支援者見守り事業

助成額等	内 容
3社協に助成 600,000円 (上限1社協20万円)	太田市社会福祉協議会 沼田市社会福祉協議会 館林市社会福祉協議会

③社協が個別支援と地域支援の両方を行う福祉活動の支援

・コミュニティソーシャルワーク研修（群馬県との共催）

市町村が包括的な支援体制を構築する上で、必要とされるコミュニティソーシャルワーカーの基本的な視点や基礎的な手法を習得するとともに、実践者を養成することを目的として開催した。

期日・場所等	内 容
11月25日・26日 前橋市 参加者40名	講義Ⅰ 「地域共生社会の構築に向けた新たな支え合い活動の仕組みづくりを考える」 ワークショップⅠ ＊事前学習課題 「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」 ワークショップⅡ 「コミュニティソーシャルワークの視点による地域アセスメント①」 ワークショップⅢ 「コミュニティソーシャルワークの視点による地域アセスメント②」 ワークショップⅣ 「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング①」 ～考えられる支援方策～ ワークショップⅤ 「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング②」 ～新たな社会資源の開発～ 講義Ⅱ 「新たな相談支援事業とコミュニティソーシャルワークを展開するシステムの構築」 講師 静岡英和学院大学コミュニティ福祉学科 教授 日本地域福祉研究所 主任研究員 青山 登志夫

④市町村社協が地域の福祉関係者の中核となれるよう支援

・市町村社協基盤強化検討会

期日・場所等	内 容
2月24日 (web開催) 参加者31名	テーマ「介護サービス事業の経営基盤の強化に向けて」 県社協説明 「県内の介護保険事業の実施状況・課題等」 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 課長 松村 喜義 事業別グループワーク（訪問介護、通所介護、居宅介護に分かれて情報交換）

・市町村社協経理研修

期日・場所等	内 容
8月5日 (web開催) 参加者43名	講義「社会福祉協議会の会計の基本について～社協経理の留意点①、②」 (1) 日常生活自立支援事業における不正防止のポイント (2) 社協の介護保険事業概略 (3) 社協におけるインボイスの対応について (4) 包括的支援事業と消費税 相談会・情報交換会 講師 税理士 根本 明人

・市町村社協常務理事・事務局長会議

期日・場所等	内 容
4 月 26 日 前橋市 参加者 66 名	説明「令和 3 年度県社協事業計画の概要について」 「群馬県社協の組織概要等」 「各課の事業計画・行事予定、県社協に対する意見・要望について」 説明「働き方改革について～県社協の取り組み～」 施設福祉課 主事 高橋 宗一 講義「働き方改革について～社協における同一労働・同一賃金のポイント～」 講師 関一之労務管理事務所 所長 関 一之

・市町村社協地域担当会議

期日・場所等	内 容
6 月 3 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 45 名	地域福祉・ボランティア・福祉教育担当者合同 行政説明「重層的支援体制整備事業、社会福祉法人と社協の連携について」 群馬県健康福祉課 地域福祉係 主任 関口 郁也 事業説明 (1) 県社協デジタル化の推進についての意見募集について (2) 災害 VC にかかる経費の国庫負担の実現と地方自治体との協定の締結、委託契約書の整備について (3) 市町村青年会議所と市町村社会福祉協議会における災害 VC に関する協定書の締結推進について (4) 災害ボランティアセンター運営者、運営支援者養成研修について (5) 損害保険ジャパン日本興亜損保における社会貢献事業（寄付金制度）のご案内について (6) コロナ禍における新たな地域福祉の推進事業（助成金） (7) 地域共生社会アドバイザー派遣事業 説明 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 課長 松村 喜義 主幹 倉賀野 洋子 主事 山岸 拓也 事業説明 (1)群馬県内の法人連絡会の取り組み状況 説明 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 主事 高岸 洋介

・市町村社協会長会への助成

助成額	内 容
175,000 円	1 社協あたり 5,000 円×35 市町村として助成

・ステップアップ研修会（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）

期日・場所等	内 容
1 日目 6 月 10 日 (web 開催) 参加者 40 名	講義・演習「接遇コミュニケーションの大切なポイント」 講師 株式会社五和 キャリアコンサルタント 石井 順子

期日・場所等	内 容
2 日目 6 月 30 日 前橋市 参加者 40 名	講義「社会福祉協議会について理解を深めよう」 講師 作新学院大学女子短期大学部 教授 坪井 真 実践報告「私の履歴書～社協職員として大切にしていることなど～」 報告者 榛東村社会福祉協議会 事務局長 小野関 芳美 安中市社会福祉協議会地域福祉課 課長 岡本 裕介 情報交換

・パワーアップ研修会（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）

期日・場所等	内 容
12 月 8 日 前橋市 参加者 21 名	講義・演習「メンタルデトックス～心のコリをほぐしましょう～」 講師 介護人材コンサルティング Futaba 代表 富永 敦子

・地域福祉活動研修会（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）

期日・場所等	内 容
3 月 2 日 (web 開催) 参加者 32 名	実践報告「栃木県日光市久次良町自治会における支え合い活動」 報告者 栃木県日光市久次良町自治会 会長 薄井 和彦 副会長 小松 三夫 副会長 宮地 ゆみ 栃木県日光市社会福祉協議会日光支所 コミュニティソーシャルワーカー 伊藤 友紀

・市町村社協訪問

期日・場所等	内 容
10 月 15 日 甘楽町 10 月 21 日 片品村 10 月 21 日 みなかみ町 10 月 22 日 嬬恋村 10 月 29 日 南牧村 11 月 9 日 富岡市 11 月 9 日 神流町 11 月 30 日 昭和村 11 月 30 日 渋川市 12 月 2 日 東吾妻町 12 月 6 日 長野原町 12 月 6 日 中之条町 12 月 7 日 太田市 12 月 16 日 前橋市 12 月 22 日 伊勢崎市 12 月 22 日 桐生市 12 月 24 日 沼田市 12 月 24 日 川場村	(主な内容) ・重点事業 ・法人連絡会等の設置状況 ・地域福祉活動計画の策定状況 ・BCP策定状況 ・重層的支援体制整備事業への取り組み状況 ・介護保険事業実施状況 ・社協が抱える重点課題 ・県社協への要望・提案・質疑等 ・その他

期日・場所等	内 容
1月12日 高山村 2月3日 上野村 2月3日 下仁田町(web) 2月24日 安中市 3月9日 草津町(web)	

・全国会議・研修等への参加

第57回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

期日・場所等	内 容
7月8日 (Web開催) 参加者 職員8名	・基調講演・オンデマンド配信 「再確認。社協の使命とは～未来（これから）を創る社協職員を考える～」 講師 ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 ・分科会運営（埼玉県・群馬県 第2分科会） テーマ「これからの社協が行う「地域づくり」の在り方とは」 分科会タイトル「交流から始まる支え合いの地域づくりー社協が取り組む多様な居場所づくりの展開ー」 コーディネーター：東京福祉大学 准教授 北爪 克洋 実践報告①：「地域の居場所「さかえーる」の取り組みについて」 報告者 草加市社会福祉協議会 SC 白河部 りつ子 実践報告②：「だれでも広場～常設の共生型居場所の取組」 報告者 渋川市社会福祉協議会 生活支援課長 登坂 将志

春・秋季 関東ブロック都県・指定都市社協 組織・ボランティア会議

期日・場所等	内 容
春季 6月25日 (Web開催) 参加者 職員3名	・令和2年度秋季研究協議会報告（千葉県社会福祉協議会） ・基調説明 「地域福祉・ボランティア活動推進における重点課題」 講師 全国社会福祉協議会 地域福祉部長 全国ボランティア・市民活動振興センター長 高橋 良太 ・分科会
秋季 11月16日 (web開催) 参加者 職員4名	・春季研究協議会振り返り ・基調説明 全国社会福祉協議会 地域福祉部長 全国ボランティア・市民活動振興センター長 高橋 良太 ・分科会

⑤共同募金運動への協力・推進

・共同募金運動や歳末たすけあい運動の協力

期間	内 容
12月1日～31日	・社会福祉法第119条に基づく共同募金に対する意見書の提出 ・実績 県内市町村募金実績額 91,511,818円

・使途選択募金の運営支援

期日・場所等	内 容
6 月 22 日 前橋市 参加者 13 名	・「つかいみちを選べる赤い羽根募金」配分式
7 月 13 日 前橋市 参加者 5 名	・ドナーチョイス（使途選択募金）実施委員会
8 月 19 日 (web 開催) 参加者 18 名	・「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議
9 月 15 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 20 名	・「つかい道を選べる赤い羽根募金」広報研修会
11 月 9 日 (web 開催) 参加者 21 名	・「つかい道を選べる赤い羽根募金」募金研修会
12 月 2 日 前橋市 参加者 17 名	・「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議
2 月 17 日 (web 開催) 参加者 15 名	・「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議

（２）ボランティア・市民活動と福祉教育の推進

県内のボランティア・市民活動や福祉教育を一層推進するため、フォーラムや研修会、連絡会議等の開催を通して取組の基盤整備を図った。

①社協ボランティアセンター機能の強化

・ぐんまボランティア・市民活動支援センター運営委員会

期日・場所等	内 容
8 月 25 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 15 名	・委員長、副委員長の選出 ・令和 3 年度事業計画説明 ・ボランティアセンターの取組報告
3 月 1 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 14 名	・令和 3 年度事業報告 ・令和 4 年度事業実施に向けて説明 ・運営要綱の一部改正について協議

②地域を基盤とした福祉教育・ボランティアの推進

・社会福祉協力校事業（小中高等学校・地域指定）

単年度学校指定モデル事業（単年度）指定：5 校

（ア）社会福祉協力校（単年度）への活動費助成（1 校 50,000 円）

当該市町村社協を通じて協力校へ助成金を交付した。

高崎市立入野小学校

伊勢崎市立三郷小学校

館林市立第二小学校

館林市立第十小学校

草津町立草津小学校

（イ）市町村社協への連絡調整費助成（1 校 10,000 円）

・地域指定福祉協力校モデル事業（3 年間）指定：3 地区

（ア）指定地域への活動費助成（1 地区 300,000 円）

地域・学校・家庭が連携をして地域に密着した福祉教育の推進を図るため、概ね中学校区を単位として指定した。

片品村全域（令和 3～令和 5 年度）

榛東村全域（令和 2～令和 4 年度）

みなかみ町全域（令和元～令和 3 年度）

・福祉協力校連絡会議

期日・場所等	内 容
4 月 27 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 14 名	・事業説明「社会福祉協力校活動助成事業について、福祉教育を進めるにあたって、その他」 ・実践発表 桐生市立相生小学校 高崎市立高崎経済大学附属高等学校

・福祉教育セミナー

期日・場所等	内 容
8月31日 前橋市 (集合&web開催) 参加者24名	講義「福祉教育とSDGs～持続可能な未来に向けて～」 講師 SDGsぐんま連絡会事務局 株式会社ミツバ環境ソリューション 神部 安希子

・企業等の社会貢献活動の推進セミナー

期日・場所等	内 容
11月11日 前橋市 参加者49名	・基調説明「SDGsとは？」 高崎商科大学特任教授 熊倉 浩靖 ・パネルディスカッション 「持続可能な地域づくりとSDGsの取組」 コーディネーター 高崎商科大学特任教授 熊倉 浩靖 パネリスト(討論者) ウエルシアホールディングス ウエルシア薬局株式会社 営業戦略本部 地域包括推進部 地域包括ケア担当 宮崎 進一 株式会社みまつ食品 代表取締役 神山 光永 嬭恋村社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 大井 志依 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 課長 松村 喜義

・(新) ふくしとSDGs相談窓口の開設

SDGsに取り組みたい企業やSDGsによって地域の困り事を解決したい地域関係者のマッチングのための相談窓口を開設した。

・ぐんまボランティアフォーラム

期日・場所等	内 容
2月9日 (web開催 &動画配信) 参加者55名	・基調講演 「地域における支え合い・助け合い活動のこれから」 講師 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 ・パネルディスカッション 「多様な主体による支え合い・助け合い活動の推進について」 ・コーディネーター 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 ・パネリスト(討論者) 伊勢崎市ボランティア連絡協議会 会長 小倉 良枝 群馬県住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会 会長 井上 謙一 みなかみ町社会福祉協議会 地域福祉課 課長 佐藤 正行

・大学・短大・専門学校等のボランティア担当教職員等連絡会議

期日・場所等	内 容
1月24日 (web開催) 参加者18名	○話題提供「学生ボランティアとの協働について」 提供者：千代田区社会福祉協議会 ちよだボランティアセンター 清水 昌代 前橋市社会福祉協議会ボランティアセンター 主事 長沼 克弥

③助け合い活動の育成、組織化、調整できるコーディネーターの育成・支援

・住民支え合いコーディネータースキルアップ講座

期日・場所等	内 容
1月13日 (web開催) 参加者30名	講義「コーディネーターの役割と実践～今一度「つなぐ」を見つめる～」 講師 大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター 青山 織衣
1月18日 (web開催) 参加者26名	講義「住民が主役の協働によるまちづくり～「住民主体」を問いなおす～」 講師 大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター 青山 織衣
1月27日 (web開催) 参加者26名	講義「地域・NPO・行政の協働コツ～コーディネーターの役割～」 講師 大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター 青山 織衣

④交通遺児・保護児童への就学援助金等給付事業

・交通遺児就学援助金の給付

高校進学が困難となった交通遺児を支援するため学資の一部を給付した。また、平成30年8月10日に発生した群馬県防災ヘリコプター墜落事故による遺児に対し、学資等の一部を給付した。

令和2年度から新規の申請受付を中止している。

援助金種別	内 容
交通遺児	給付額 420,000 円 高校学資 月額 5,000 円×12 か月×7 名=420,000 円
へり遺児	給付額 430,000 円 高校入学支度金 30,000 円×1 名=30,000 円 高校学資 月額 5,000 円×12 か月×5 名=300,000 円 大学入学支度金 100,000 円×1 名=100,000 円

・保護児童就学援助金の給付

保護児童に対し、高校の学資に要する経費の一部を給付した。

援助金種別	内 容
就学援助金	給付額 4,767,500 円 月額 2,500 円 168 名
入学支度金	給付額 540,000 円 20,000 円×27 名=540,000 円

⑤教員免許特例法による介護等体験事業

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、小学校及び中学校の教諭の普通免許状取得希望者に社会福祉施設等での介護等体験が義務づけられていることから、社会福祉施設等での円滑な受け入れを推進するため、本会において受入調整事業を行った。

(ア) 申込状況

学校区分	申込大学等数	体験実施者数
大 学	15	261
短 期 大 学	1	1
合 計	16	262

(イ) 受入状況

種別	施設種別	施設数	体験者数
保護施設	救護施設	1	1
	計	1	1
高齢者	養護老人ホーム	2	3
	特別養護老人ホーム	20	58
	老人デイサービスセンター	44	137
	介護老人保健施設	2	3
	計	68	201
障 害	障害者支援施設	5	6
	知的障害者更生施設	1	1
	知的障害者授産施設	0	0
	計	6	7
障 害	生活介護事業	9	30
	就労移行支援事業	3	6
	就労継続支援事業	8	17
	地域活動支援センター	0	0
	身体障害者療護施設	0	0
	計	20	53
児 童	乳児院	0	0
	児童養護施設	0	0
	児童デイサービス	0	0
	知的障害児通園施設	0	0
	重症心身障害児施設	0	0
	計	0	0
合 計		95	262

(ウ) 介護等体験事業事前説明会

期日・場所等	大学・内 容
5月27日 前橋市 参加者 81名	育英大学・育英短期大学 講義「介護等体験の概要、意義、心構え、注意事項等」 講師 群馬県社会福祉協議会 小野田 響子 対象 各大学の学生（教員免許取得希望者）及び担当職員

推進項目 2：市町村における総合的な相談支援体制の強化

(1) 権利擁護体制の構築

日常生活自立支援事業及び成年後見制度の体制整備を推進しながら、制度の狭間の権利擁護課題を検討した。

①日常生活自立支援事業

- ・全市町村の基幹社協化に向けた取組の推進

30 市町村社協に専門員を配置し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等による支援を行った。

(ア) 事業実施体制

a 相談件数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
件 数	8,905 件	7,103 件	14,014 件	3,913 件	33,935 件
構成比	26%	21%	41%	12%	100%

b 契約締結人数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
件 数	118 件	43 件	57 件	0 件	218 件
構成比	54%	20%	26%	0%	100%

c 解約人数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
件 数	121 件	22 件	54 件	0 件	197 件
構成比	62%	11%	27%	0%	100%

d 実利用者数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
件 数	440 件	284 件	355 件	0 件	1,079 件
構成比	41%	26%	33%	0%	100%

(イ) 契約締結審査会の開催

本事業運営上の助言を得ることを目的として、委員 5 名（医師 2、弁護士 1、保健師 1、社会福祉士 1）による審査会を開催した。

期日・場所等	内 容
4 月 14 日 (web 開催) 参加者 7 名	(1) 令和 2 年度運営状況について (2) 令和 3 年度事業予定について (3) 全市町村型移行について (4) 成年後見制度関係 (5) その他
10 月 13 日 (web 開催) 参加者 7 名	(1) 令和 3 年度運営状況について (2) 日常生活自立支援事業における他県での不祥事について (3) 権利擁護課題検討会について (4) 委員の改選について (5) 定例開催の月について (6) その他

(ウ) 巡回訪問

事業実施社協における本事業の適切な実施を図るため、事業を実施する社協 21 か所を訪問し、状況確認及び課題についての意見交換等を行った。

期日・場所等	内 容
4 月 19 日 高崎市 4 月 22 日 安中市 4 月 22 日 上野村 4 月 23 日 片品村 4 月 23 日 川場村 4 月 28 日 神流町 4 月 30 日 昭和村 5 月 10 日 沼田市 5 月 10 日 みなかみ町 5 月 14 日 明和町 5 月 14 日 大泉町 5 月 17 日 館林市 5 月 17 日 邑楽町 5 月 24 日 長野原町 5 月 24 日 高山村 5 月 31 日 嬬恋村 5 月 31 日 東吾妻町 9 月 15 日 榛東村 11 月 19 日 板倉町 11 月 30 日 吉岡町 3 月 10 日 千代田町 ※千代田町のみ Web 開催	1 趣旨説明 2 点検 (1) 実施体制について (2) 契約内容について (3) 解約後未返却のケースについて (4) 成年後見制度の取り組み状況について 3 情報交換

(エ) 専門員会議の開催

a 専門員連絡調整会議

期日・場所等	内 容
9 月 10 日 (web 開催) 参加者 42 名	1 連絡・報告事項 (1) 相談件数及び契約状況等 (7 月分) (2) 関係する会議・研修等のスケジュールについて (3) 日常生活自立支援事業における不祥事について (4) 専門員配置状況等調査の結果について (5) 権利擁護課題検討会の状況について 2 情報交換 (1) 面前でのガイドラインの実施・利用者本人の意思確認等が困難な場合の対応等について (2) 新型コロナウイルス感染症における警戒度の変動等に合わせた対応等について (3) 利用者のキャッシュレス決済等の対応について (4) その他

b 研修検討会

期日・場所等	内 容
8 月 25 日 (web 開催) 参加者 7 名	(1) 研修体系及び内容について (2) 専門員新任者研修Ⅱについて (3) 事例検討会について
2 月 21 日 (web 開催) 参加者 6 名	(1) 専門員新任者研修Ⅰについて

(オ) 専門員研修の開催

専門員及び一般社協の担当者を対象に、利用者支援に必要な知識を習得し、資質の向上を図るとともに、支援の充実に資することを目的とする研修を開催した。

a 専門員新任者研修Ⅰ

期日・場所等	内 容
4 月 27 日 (web 開催) 参加者 48 名	「日常生活自立支援事業の概要説明」 群馬県社会福祉協議会 生活支援課主事 蜂須 誠 「先輩専門員から学ぶ実務」 伊勢崎市社会福祉協議会 主事 夏目 賢人 「先輩専門員から学ぶ面接方法」 高崎市社会福祉協議会 班長 伊藤 岳央 太田市社会福祉協議会 所長 須永 良一 「先輩専門員から学ぶ専門員像」 前橋市社会福祉協議会 主事 北川 智大

b 専門員新任者研修Ⅱ

期日・場所等	内 容
11 月 10 日 (web 開催) 参加者 43 名	「業務マニュアルについて」 群馬県社会福祉協議会 生活支援課主事 蜂須 誠 「事例報告」 前橋市社会福祉協議会 主事 北川 智大 高崎市社会福祉協議会 班長 伊藤 岳央 「グループ協議」 前橋市社会福祉協議会 主事 北川 智大 高崎市社会福祉協議会 班長 伊藤 岳央 伊勢崎市社会福祉協議会 主事 夏目 賢人 太田市社会福祉協議会 所長 須永 良一 館林市社会福祉協議会 主任 石川 千安希 安中市社会福祉協議会 主任 大塚 美穂 「先輩専門員から学ぶ専門員像」 前橋市社会福祉協議会 主事 北川 智大

c 専門員等研修会

期日・場所等	内 容
12 月 17 日 (web 開催) 参加者 59 名	講義「障害年金及び障害者手帳について」 あさひ社会保険労務事務所 社会保険労務士 浅田 均

(力) 関係機関連絡会議の開催

構成員 39 機関に対して、書面により報告を行った。

期日・場所等	内 容
6 月 29 日 (書面開催) 39 団体	・事業実施状況の報告 ・構成員の確認

(キ) 利用料助成

住民税非課税世帯及び生活保護世帯の福祉サービス利用支援の機会を確保するため、住民税非課税世帯の者に対する利用料の助成（1 時間当たり 1,200 円の利用料のうち 500 円の助成）、生活保護世帯の者に対する利用料の助成（1 時間当たり 1,200 円の利用料全額の助成）を実施した。

※非課税世帯への助成金 1 時間当たり 500 円の（内訳：県 125 円、県社協 125 円、市町村 250 円）

※生活保護世帯への助成金 1 時間あたり 1,200 円（内訳：国 600 円、県 600 円）（委託費を含む。）

※非課税世帯への助成は、平成 13 年度県・市町村補助事業として創設

a 令和 3 年度非課税世帯利用料助成金交付状況（県・県社協分）：1,837,500 円

②成年後見制度の利用促進

・市町村社協による法人後見の実施に向けた支援

(ア) 普及啓発セミナーの開催

成年後見制度の利用促進を図るため、支援者等を対象にしたセミナーを動画配信により開催した。

期日・場所等	内 容
2 月 10 日～ 3 月 31 日 (動画配信) 申込者 183 名	・「法定後見制度の概要」（247 回再生） 群馬弁護士会高齢者・障害者支援センター委員長 弁護士 栗原 貴志 ・「法定後見制度の申立手続き」「任意後見制度の概要」 (162 回再生) リーガルサポート群馬支部副支部長 司法書士 堀川 寛人 ・「成年後見制度における権利擁護の視点と意思決定支援について」 (130 回再生) ぱあとなあ群馬センター長 社会福祉士 須田 和也 ・「日常生活自立支援事業について」 (137 回再生) 群馬県社会福祉協議会 生活支援課主事 蜂須 誠

(イ) 行政職員等研修の開催

県内における成年後見制度利用促進に向けた市町村の体制整備を進めるため、地域連携ネットワークの構築や中核機関の設置、市町村計画の策定等に必要な知識やノウハウの習得を図ることを目的とした研修を動画配信により開催した。

期日・場所等	内 容
3月30日 (動画配信) 77機関	行政説明「市町村における体制整備について」 群馬県健康福祉部健康福祉課地域福祉推進室地域福祉係 地域福祉専門推進員 茂木 博紀 講義「成年後見制度利用促進に向けて体制整備をどのように行うか」 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科 講師 大口 達也

(ウ) 市町村社協による法人後見の実施に向けた支援

a 法人後見専門員養成研修

期日・場所等	内 容
1日目 8月24日 (web開催) 参加者22名	「成年後見制度の基礎」 講師 群馬弁護士会 高齢者・障害者支援センター副委員長 弁護士 板橋 俊幸
2日目 9月1日 (web開催) 参加者23名	「成年後見の実務」 講師 前橋家庭裁判所 書記官 小野 将成 書記官 白井 綾 「民法の基礎」 講師 群馬弁護士会 高齢者・障害者支援センター副委員長 弁護士 板橋 俊幸
3日目 9月7日 (web開催) 参加者22名	「成年後見人実践報告」 講師 はあとらんど所長 社会福祉士 大矢 和則 「法人後見実践報告」 講師 館林市社会福祉協議会 主任 石川 千安希

(エ) 情報交換会の開催

a 成年後見関係団体連絡会議

期日・場所等	内 容
2月21日 (web開催) 参加者17名	・説明 (1) 県内の取り組み状況について (2) 第二期成年後見制度利用促進基本計画について (3) 市町村体制整備アドバイザー派遣事業(案)について ・協議・情報交換 (1) 各機関・団体の取り組み及び今後の予定について (2) 質疑応答・情報交換

b 市町村社協情報交換会

期日・場所等	内 容
7 月 16 日 (web 開催) 参加者 30 名	【中核機関関係】 1 説明・報告 (1) 中核機関について 群馬県健康福祉部健康福祉課地域福祉推進室地域福祉係 地域福祉専門推進員 茂木 博紀 (2) 中核機関受託予定社協状況報告 前橋市社会福祉協議会 副主幹 高村 いくみ (3) 各出席社協状況報告 2 協議・情報交換・質疑応答 3 その他
3 月 24 日 (web 開催) 参加者 24 名	【中核機関関係】 1 報告 各出席社協状況報告 2 協議・情報交換・質疑応答 3 その他

(オ) 法人後見立ち上げ支援の実施

市町村社協情報交換会や法人後見立ち上げに向けた研修会・準備会等を通して支援を行い、令和3年度中に新たに4か所が法人後見実施社協となり計7か所となった。

a 市町村社協情報交換会

期日・場所等	内 容
7 月 20 日 (web 開催) 参加者 36 名	1. 説明・報告 (1) 法人後見立ち上げ済み社協状況報告 藤岡市社会福祉協議会 係長代理 福田 美奈 (2) 各出席社協状況報告 2. 協議・情報交換・質疑応答 3. その他
3 月 25 日 (web 開催) 参加者 33 名	1. 報告 ・各出席社協状況報告 2. 協議・情報交換・質疑応答 3. その他

b 法人後見立ち上げに向けた準備会・研修会及び運営委員会頭での説明・助言

期日・場所等	内 容
伊勢崎市	社協職員に対する説明 (1 回)
藤岡市	運営委員会における助言 (3 回)
上野村	準備会における説明・助言 (2 回)
中之条町	準備会における説明・助言 (2 回)
嬬恋村	準備会における説明・助言 (1 回)
草津町	・検討会における助言 (2 回) ・社協役員に対する説明 (1 回) ・運営委員会における説明・助言 (2 回)

③制度の狭間の権利擁護課題の検討

・権利擁護課題検討会の開催

委員 6 名（弁護士、司法書士、社会福祉士、地域包括支援センター職員、社協職員 2 名）による権利擁護課題の検討を行った。

期日・場所等	内 容
7 月 14 日 前橋市 参加者 8 名	「死後事務に関する事例・検討希望内容調査」集計結果の分析 「死後の手続きに関する制度等」について 日常生活自立支援事業での死後の対応について その他、死後に求められる事務に関する協議
10 月 29 日 前橋市 参加者 8 名	日常生活自立支援事業での死後の対応について 死後事務や身元その他、死後に求められる事務に関する協議
3 月 3 日 前橋市 参加者 8 名	令和 4 年度の検討事項及びスケジュールについて 死後の対応困難な場面の検討について

（２）生活困窮者等への支援

生活にお困りの方の状況に応じて、関係機関と連携した横断的支援を推進するとともに、ひきこもり状態にある方に対する相談体制の整備等相談窓口の充実を図った。

①生活にお困りの方への相談支援

・23 町村における生活困窮者に対する相談支援体制の強化

8 か所の支所社協と県社協でコンソーシアム（共同事業体）協定を結び、群馬県より群馬県生活困窮者自立相談支援事業を受託して、県内 23 町村における生活困窮者支援のための相談支援を行った。

期日・場所等	内 容
通年 町村部	新規相談受付件数 1,421 件 自立相談支援事業申込件数 1,169 件 自立支援プランの作成 167 件

・主任相談支援員及び相談支援員の資質向上

相談支援員の資質向上を図ることを目的に外部研修への参加を行った。

期日・場所等	内 容
4 月 28 日 (web 開催)	群馬県生活困窮者自立支援制度関係新任職員研修 講義 「生活困窮者自立支援制度の基本的考え方」 「支援員に求められる基本倫理と基本姿勢」 「個別支援の基本と相談支援の展開」 「家計改善支援事業・就労準備支援・ひきこもり支援業について」 講師 群馬県健康福祉課主事 山口 智宏 群馬県社会福祉協議会 生活支援課主事 落合 瑞季 吉岡町社会福祉協議会 事務局次長 野崎 みづ穂 日本FP協会 群馬支部 支部長 高橋 瑞枝 ワーカーズコープ北関東事業本部 山本 文江 安中市福祉課 竹内 麻由子

期日・場所等	内 容
9月27日～12月3日 (動画配信) 11月26日 (動画配信) 受講者 県社協 1名 支所社協 1名	生活困窮者自立支援制度自立相談支援事業従事者養成研修 講義 「生活困窮者自立支援制度について」 「個別支援の基本」 「地域を基盤とした相談支援の方法」 「相談支援の展開」
12月8日・9日 (web開催) 受講者 県社協 1名 支所社協 1名	生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修 講義「生活困窮者自立支援制度の理念、基本姿勢等」 「任意事業との連携 就労準備支援」 「任意事業との連携 家計改善支援事業」 取り組み紹介 「重層的支援体制をいかに築くか」 シンポジウム 「生活困窮者自立支援における孤独・孤立対策」 グループワーク

・生活困窮者自立支援に係わる関係機関連絡会議の開催

町村役場、町村社協、各保健福祉事務所、ハローワーク、障害者就業・生活支援センターと情報交換等を実施した。

期日・場所等	内 容
7月19日 富岡市 参加者 21名	甘楽・多野ブロック 情報交換
7月29日 前橋市 参加者 15名	中部ブロック 情報交換
8月2日 (web開催) 参加者 27名	吾妻ブロック 情報交換
8月23日 (web開催) 参加者 19名	利根ブロック 情報交換
8月27日 (web開催) 参加者 24名	邑楽ブロック 情報交換

・(新)ひきこもり状態の方の当事者のつどい、家族のつどい、傾聴セラピー、メール相談等

期日・場所等	内 容
8月31日 前橋市 参加者 3名	当事者のつどい 「県内のひきこもり支援団体の紹介」 講師 NPO 法人 ビーイング 代表 片岡 美幸 NPO 法人 アリスの広場 代表 佐藤 真人
9月24日 太田市 参加者 6名	
11月29日 館林市 参加者 1名	当事者のつどい 「工場見学」 講師 NPO 法人 ワーカーズコープ コーディネーター 山本 文江

期日・場所等	内 容
2月7日 前橋市 参加者4名	当事者のつどい 「からだを柔らかくするストレッチ」 講師 インストラクター 桑原 一美
3月9日 太田市 参加者4名	
8月25日 前橋市 参加者5名	家族のつどい 「ひきこもり支援団体について」 講師 NPO 法人 ビーイング 代表 片岡 美幸 NPO 法人 アリスの広場 代表 佐藤 真人
9月13日 太田市 参加者 10名	
10月22日 前橋市 参加者3名	家族のつどい 「ひきこもりの背景や心の状況～家族としての対応方法等」 講師 群馬県こころの健康センター 相談援助二係 技師長 大館 実穂 技師 畠山 結衣
11月15日 太田市 参加者12名	
12月20日 前橋市 参加者6名	家族のつどい 「からだを柔らかくするストレッチ」 講師 インストラクター 桑原 一美
1月12日 太田市 参加者4名	
2月14日 前橋市 参加者5名	家族のつどい 「ファイナンシャルプランナー講座」 講師 NPO 法人 ワークーズユープ コーディネーター 山本 文江
3月16日 太田市 参加者 7名	
12月 6日 前橋市 参加者 5名	女子会 「スキンケア・メイクアップ演習」 講師 株式会社ポーラ 美容・エステ担当者
8月26日 2件 9月21日 2件 10月28日 2件 11月25日 2件 12月23日 2件 1月26日 1件	傾聴セラピー 「相談支援員による対面での傾聴」

期日・場所等	内 容
2月15日 1件 2月16日 1件 2月18日 1件 2月24日 2件 3月24日 1件 3月25日 3件 3月30日 1件 前橋市 (全日)	傾聴セラピー 「相談支援員による対面での傾聴」
9月29日 1件 10月 5日 1件 10月19日 1件 10月20日 2件 10月29日 1件 11月10日 1件 11月11日 1件 11月16日 1件 11月30日 1件 12月 2日 1件 12月13日 2件 1月21日 2件 2月15日 2件 3月 7日 1件 吉岡町及び玉村町	出張傾聴セラピー 「相談支援員による対面での傾聴」
通年 78件	メール相談 「当事者及び家族等からのメールでの相談対応」

・心配ごと相談所中央センター

(ア) 法律専門相談

期日・場所等	内 容
毎月第 2・4 木曜日 前橋市	弁護士による相談対応 開催回数 22 回 (相談件数 計 29 件)

(イ) 心配ごと相談所巡回出張研修

期日・場所等	内 容
11 月 16 日 みどり市 参加者 40 名	「基本的な相談援助技術の習得と事例 (引きこもり、近隣トラブル、介護) に基づくアドバイス方法」 講師 法律事務所わだち 弁護士 山本 聡
2 月 17 日 沼田市 参加者 27 名	「相談を受ける上での技法、相談事例について」 講師 法律事務所わだち 弁護士 山本 聡
3 月 14 日 渋川市 参加者 3 名	「最近話題となっている案件など」※講師一任 講師 ぐんま法律事務所 弁護士 門馬 義昭

②関係機関・団体等との連携強化

・民生委員・児童委員の活動支援

期日・場所等	内 容
11 月～2 月 (DVD 配布)	「令和時代の民生委員活動-新たな民生委員活動の形を求めて-」 講師 K T 福祉研究所 代表 松藤 和生 収録時間：60 分程度 受講人数：970 名

③生活福祉資金貸付事業の実施

・資金貸付と自立支援の充実

市町村社協や自立相談支援機関、民生委員・児童委員等との連携により、生活福祉資金貸付事業を実施し、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図った。

貸付件数等の状況 別表 1・2 を参照

(ア) 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催

期日・場所等	内 容
3 月 8 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 15 名	・償還・延滞利子の支払猶予及び免除等について ・生活福祉資金一般貸付状況について ・生活福祉資金特例貸付状況及び償還について ・訪問活動 (償還指導) について

(イ) 市町村社協事務局長等会議の開催

期日・場所等	内 容
1 月 25 日 (web 開催) 参加者 50 名	・特例貸付について ・市町村事務費について ・令和 4 年度生活福祉資金貸付事業について

(ウ) 緊急小口資金等特例貸付の実施

新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入が減少し、生活困窮に陥った世帯を対象に、緊急小口資金等の特例貸付を実施した。

令和3年度貸付決定件数・金額

資金種類	緊急小口資金等特例貸付	
	件数	金額
緊急小口資金	6,465	1,220,330,000 円
総合支援資金（初回）	7,211	3,572,410,000 円
総合支援資金（延長）	2,975	1,517,600,000 円
総合支援資金（再貸付）	6,958	3,556,470,000 円
合計	23,609	9,866,810,000 円

貸付件数等の状況（令和2年3月25日～） 別表3を参照

・債権・償還管理体制の充実

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訪問活動を中止した。

④ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

・入学準備金、就学準備金、住宅支援資金の貸付

就職に有利な資格の取得を目指す県内のひとり親家庭の親等に対し、自立を促進するため、貸付事業を実施した。

資金種類	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	
	件数	金額
入学準備金	10	4,315,000 円
就職準備金	1	25,000 円
住宅支援資金	1	78,000 円
合計	12	4,418,000 円

(ア) 入学準備金・就職準備金 面接審査

期日・場所等	内 容
6月25日 前橋市 参加者9名	・貸付制度及び貸付金額の確認 ・申請者の状況確認
6月29日 前橋市 参加者3名	・貸付制度及び貸付金額の確認 ・申請者の状況確認

令和3年度 生活福祉資金貸付状況一覧（月別）

資金の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
総合支援資金	2 515,000	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2	555,000	0 0	0 0	0 0	0 0	4 1,070,000	
生活支援費	2 515,000	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2	555,000	0 0	0 0	0 0	0 0	4 1,070,000	
住宅入居費	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
一時生活再建費	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
福祉資金	6 490,000	10 566,000	11 4,086,000	7 376,000	7 507,000	10 399,000	6 354,000	8 1,400,000	11 904,000	5 1,659,000	6 821,000	5 367,000	92 11,929,000	
福祉費	0 0	1 51,000	6 3,895,000	1 56,000	5 307,000	1 105,000	1 120,000	2 1,026,000	2 120,000	2 1,495,000	1 457,000	0 0	22 7,632,000	
緊急小口資金	6 490,000	9 515,000	5 191,000	6 320,000	2 200,000	9 294,000	5 234,000	6 374,000	9 784,000	3 164,000	5 364,000	5 367,000	70 4,297,000	
復興支援資金	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
教育支援資金	2 1,315,000	2 1,222,000	4 3,049,000	0 0	1 245,000	1 1,210,000	1 904,000	5 4,108,000	6 11,545,000	4 4,357,000	8 6,291,000	22 24,119,000	56 58,365,000	
支援費・支度費	2 1,315,000	0 0	1 403,000	0 0	0 0	1 1,210,000	1 904,000	4 3,673,000	6 11,545,000	4 4,357,000	5 5,203,000	14 17,126,000	38 45,736,000	
教育支援費	0 0	2 1,222,000	3 2,646,000	0 0	1 245,000	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 5,244,000	8 9,357,000	
就学支度費	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 435,000	0 0	0 0	3 1,088,000	6 1,749,000	10 3,272,000	
不動産担保型 生活資金	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
(要)不動産担保型 生活資金	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
臨時特例 つなぎ資金	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
計	10 2,320,000	12 1,788,000	15 7,135,000	7 376,000	8 752,000	11 1,609,000	9 1,813,000	13 5,508,000	17 12,449,000	9 6,016,000	14 7,112,000	27 24,486,000	152 71,364,000	

※決定ベース（辞退前）

令和3年度 生活福祉資金貸付状況一覧（市町村別）

別表2

	総合支援資金						福祉資金						教育支援資金		不動産担保型生活資金(要)不動産担保型生活資金				臨時特例つなぎ資金				合計	備考
	生活支援費		住宅入居費		一時生活再建費		福祉費		緊急小口資金		生活復興支援資金		教育支援資金		不動産担保型生活資金		不動産担保型生活資金		臨時特例つなぎ資金					
	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円		
前橋市	0	0	0	0	0	0	7	2,304,000	24	613,000	0	0	9	14,592,000	0	0	0	0	0	0	40	17,509,000		
高崎市	3	794,000	0	0	0	0	4	1,335,000	11	988,000	0	0	21	22,977,000	0	0	0	0	0	0	39	26,094,000		
桐生市	0	0	0	0	0	0	1	367,000	2	120,000	0	0	2	2,063,000	0	0	0	0	0	0	5	2,550,000		
伊勢崎市	0	0	0	0	0	0	2	314,000	1	100,000	0	0	4	1,525,000	0	0	0	0	0	0	7	1,939,000		
太田市	0	0	0	0	0	0	1	100,000	5	410,000	0	0	10	7,328,000	0	0	0	0	0	0	16	7,838,000		
沼田市	0	0	0	0	0	0	2	2,408,000	2	160,000	0	0	2	1,052,000	0	0	0	0	0	0	6	3,620,000		
館林市	0	0	0	0	0	0	0	0	4	350,000	0	0	3	6,102,000	0	0	0	0	0	0	7	6,452,000		
渋川市	0	0	0	0	0	0	1	457,000	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	557,000		
藤岡市	0	0	0	0	0	0	1	54,000	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	154,000		
富岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
安中市	0	0	0	0	0	0	0	0	5	280,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	280,000		
みどり市	0	0	0	0	0	0	0	0	2	136,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	136,000		
榛東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
吉岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000		
神流町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上野村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
下仁田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
南牧村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
甘楽町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
中之条町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
長野原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
嬭恋村	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30,000		
草津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
高山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
東吾妻町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	40,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	40,000		
片品村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
川場村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
みなかみ町	0	0	0	0	0	0	0	0	6	470,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	470,000		
玉村町	1	276,000	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	376,000		
板倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
明和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
千代田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
大泉町	0	0	0	0	0	0	1	168,000	2	200,000	0	0	3	806,000	0	0	0	0	0	0	6	1,174,000		
邑楽町	0	0	0	0	0	0	2	125,000	0	0	0	0	2	1,920,000	0	0	0	0	0	0	4	2,045,000		
合計	4	1,070,000	0	0	0	0	22	7,632,000	70	4,297,000	0	0	56	58,365,000	0	0	0	0	0	0	152	71,364,000		

※決定ベース（辞退前）

生活福祉資金特例貸付 貸付状況（令和2年3月25日～）

別表 3

1. 申請件数

	R2.3月～12月	R3.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	計
緊急小口資金	19,251	636	956	1,348	808	763	1,010	634	650	743	548	442	304	257	342	461	29,153
総合支援資金（初回）	9,791	605	992	1,508	885	935	1,097	656	667	664	531	469	298	239	275	368	19,980
総合支援資金（延長）	2,303	604	737	1,045	581	697	932	73	0	0	0	0	0	0	0	0	6,972
総合支援資金（再貸付）	0	0	411	984	405	524	639	771	1,221	1,141	771	592	467	73	0	0	7,999
計	31,345	1,845	3,096	4,885	2,679	2,919	3,678	2,134	2,538	2,548	1,850	1,503	1,069	569	617	829	64,104

※総合支援資金（延長）の申請期間は令和3年6月末で終了。

※総合支援資金（再貸付）の申請期間は令和3年12月末で終了。

2. 決定件数

	R2.3月～12月	R3.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	計
緊急小口資金	18,776	524	802	1,147	963	676	945	662	539	649	575	386	292	168	242	368	27,714
総合支援資金（初回）	9,143	516	615	1,057	1,426	524	1,105	899	669	583	640	385	413	171	181	215	18,542
総合支援資金（延長）	1,873	573	564	820	961	367	854	792	1	0	0	0	0	0	0	0	6,805
総合支援資金（再貸付）	0	0	0	411	1,011	256	579	552	825	1,045	1,213	601	405	388	83	0	7,369
計	29,792	1,613	1,981	3,435	4,361	1,823	3,483	2,905	2,034	2,277	2,428	1,372	1,110	727	506	583	60,430

※申請受理後、審査を経て貸付決定となるため、申請月と同月にはならない 小口…申請から約1週間後、総合…申請から約3～4週間後

3. 貸付決定額（単位：千円）

	R2.3月～12月	R3.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	計
緊急小口資金	3,510,150	97,660	151,220	216,590	180,890	128,230	179,990	124,480	102,300	121,630	109,050	73,130	53,370	31,430	45,920	69,910	5,195,950
総合支援資金（初回）	4,600,138	252,050	304,570	529,420	702,420	253,960	549,690	448,600	335,800	291,240	308,650	187,860	210,070	85,740	89,090	109,290	9,258,588
総合支援資金（延長）	951,390	284,120	283,020	416,360	483,100	188,340	439,390	406,170	600	0	0	0	0	0	0	0	3,452,490
総合支援資金（再貸付）	0	0	0	217,230	510,120	132,550	295,420	283,820	422,630	535,650	621,700	309,710	207,550	195,270	42,050	0	3,773,700
計	9,061,678	633,830	738,810	1,379,600	1,876,530	703,080	1,464,490	1,263,070	861,330	948,520	1,039,400	570,700	470,990	312,440	177,060	179,200	21,680,728

※総合支援資金・総合支援資金（延長）は最大3回に分けて送金するため、送金額と同額にはならない

(イ) 令和 4 年度 入学準備金・就職準備金 説明会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止し、書類送付により対応した。

⑤児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

・生活支援費、家賃支援費、資格取得費の貸付

県内の児童養護施設等に入所中又はこれらを退所した者、また里親等に委託中、又は委託を解除された者で、就職や大学等への進学をしたが、保護者からの経済的支援を受けられない等の理由により生活基盤の確保が困難な状況である者に対し、自立を支援するため貸付事業を実施した。

資金種類	児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業	
	件数	金額
生活支援費	1	600,000 円
家賃支援費	1	150,000 円
資格取得費	1	170,000 円
合計	3	920,000 円

(3) 社会福祉法人等の連携強化

各社会福祉法人における公益的な取組の事例紹介や情報交換会等の開催、市町村域や小地域における災害時の相互応援を含めた市町村社協を主軸とした法人・施設等の連携体制の構築、県域における「群馬県ふくし総合相談支援事業」の広報啓発、各種研修会等を実施した。

福祉サービス第三者評価事業について、福祉サービス評価推進センターぐんまの体制等の見直しや行政、各種別協議会等と連携した受審促進、評価機関の育成や組織強化を行った。

①地域における公益的な取組の推進

・各法人単位の取組への支援

各法人における公益的な取組の普及・啓発に向けた情報提供やノウハウ支援として、県内社会福祉法人・施設の実践事例動画を昨年度に引き続き公開した。

・市町村域、小地域における法人・施設間連携の支援

県内の市町村域、小地域における社会福祉法人・施設間連携の支援を行った。

(ア) 法人・施設間連携の支援

【前橋市】

期日等	内 容
4 月 27 日 参加 29 法人	前橋市社会福祉法人連絡会設立総会 ・議事 (1) 前橋市社会福祉法人連絡会規約について (2) 前橋市社会福祉法人連絡会役員の選任について (3) 令和 3 年度事業計画について
2 月 10 日 (集合&web 開催) 参加者 24 名	前橋市社会福祉法人連絡会居場所づくり部会研修会 ・講演 「元不登校・ひきこもりが語る、支援者に必要な心構え」 講師 NPO 法人ぐんま若者応援ネット 理事長 佐藤 真人

【桐生市】

期日等	内 容
9 月 14 日 参加者 10 名	桐生市社会福祉法人・社会福祉施設連絡会議設立に関する世話人会 議 ・協議事項 ～桐生市社会福祉法人・社会福祉施設連絡会設立に向けて～ (1) 各会則（案）等について (2) 役員について (3) 設立総会について (4) その他
11 月 30 日 参加者 6 名	桐生市社会福祉法人・社会福祉施設連絡会議設立に関する情報交換 会（新里地区） ・経過報告 ・協議事項 (1) 役員について (2) 設立総会について (3) その他 ・今後のスケジュール
12 月 6 日 参加者 12 名	桐生市社会福祉法人・社会福祉施設連絡会議設立に関する情報交換 会（広沢・境野地区） ・経過報告 ・協議事項 (1) 役員について (2) 設立総会について (3) その他 ・今後のスケジュール
12 月 9 日 参加者 7 名	桐生市社会福祉法人・社会福祉施設連絡会議設立に関する情報交換 会（川内地区） ・経過報告 ・協議事項 (1) 役員について (2) 設立総会について (3) その他 ・今後のスケジュール
12 月 13 日 参加者 6 名	桐生市社会福祉法人・社会福祉施設連絡会議設立に関する情報交換 会（相生地区） ・経過報告 ・協議事項 (1) 役員について (2) 設立総会について (3) その他 ・今後のスケジュール
12 月 14 日 参加者 10 名	桐生市社会福祉法人・社会福祉施設連絡会議設立に関する情報交換 会（本町・梅田地区） ・経過報告 ・協議事項 (1) 役員について (2) 設立総会について (3) その他 ・今後のスケジュール

【沼田市】

期日等	内 容
12 月 2 日 対象 44 法人	沼田市社会福祉施設連絡会の設立に向けた情報交換会 ・説明・意見交換 (1) 福祉避難所の役割と市内の設置状況について 沼田市役所総務部地域安全課 (2) 県内のふくし総合相談支援事業の実施状況並びに法人連携の 取り組みについて 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課主事 高岸 洋介 (3) 沼田市社会福祉施設連絡会の設立に向けて 沼田市社会福祉協議会 福祉係 係長 金子 大介 (4) 沼田市社会福祉施設連絡会会則（案）について
3 月 8 日 参加 26 法人	沼田市社会福祉施設連絡会 設立総会 ・議事 (1) 沼田市社会福祉施設連絡会会則の制定について (2) 役員の選任について (3) 事業計画（案）について ・基調説明 「小規模法人のネットワーク化による協働推進事業」 群馬県健康福祉部健康福祉課 主任 菅原 悠太郎 ・基調講演 「組織を超えて協力すれば課題は解決できる 制度から排除されやすい人の福祉をつくる」 講師 認定 NPO 法人茨城 NPO センター・コモンズ 代表理事 横田 能洋

【中之条町】

期日等	内 容
12 月 8 日 参加者 14 名	令和 3 年度（第 5 回中之条町社会福祉法人連絡会） ・説明 「小規模法人のネットワーク化による協働推進事業」について 群馬県健康福祉部健康福祉課 主任 菅原 悠太郎 ・協議 地域公益活動に向けた今後の活動について

【みなかみ町】

期日等	内 容
10 月 21 日 (集合&web 開催) 参加者 27 名	みなかみ町社会福祉法人等連絡会社会福祉法人等ネットワーク会議 ・経過報告 (1) 生活支援サービス等経過報告（生活支援・協力店・介護人材） ・協議事項 (1) コロナ関連 (2) 地域づくり関連 (3) その他

【吾妻郡】

期日・場所等	内 容
3 月 11 日 中之条町 参加者 22 名	令和 3 年度吾妻郡内災害ボランティアセンター研修会 (1) 講義① 「社協が災害ボランティアセンターを運営する意義」 講師 榛東村社会福祉協議会 事務局長 小野関 芳美 (2) 講義② 「災害ボランティアセンターの運営について」 講師 片品村社会福祉協議会 係長 千明 長三 (3) その他（情報提供） 「災害時における社会福祉施設の動きと連携について」 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 主事 高橋 宗一

（イ）令和 3 年度市町村社協管内における社会福祉法人等の連携に関する情報交換会

期日・場所等	内 容
3 月 18 日 (web 開催) 参加者 34 名	令和 3 年度市町村社協管内における社会福祉法人等の連携に関する情報交換会 (1) 基調説明 「社会福祉法人・福祉施設との連携・協働について」 全国社会福祉協議会 地域福祉部 参事 岡崎 貴志 (2) 事例報告① 「地域公益活動の取組状況と法人連絡会に期待すること」 社会福祉法人春風会 地域公益活動推進室 下前 剛次 (3) 事例報告② 「社会福祉法人・施設間連携について」 桐生市法人連絡会地区代表 古谷 忠之 (4) 事例紹介・情報交換 (5) その他 「群馬県ふくし総合相談支援事業の今後の事業展開について」 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 主事 高岸 洋介

・群馬県ふくし総合相談支援事業（県域）

地区別連絡会議の開催や各種研修事業、出張相談会の実施の他、事業の一層の推進及び効果的な実施に向け、なんでも福祉相談員の代表からなる「群馬県ふくし総合相談支援事業あり方検討会」を設置し、本事業に求められている姿、進むべき方向性について検討を重ね、運営委員会に提言書を提出した。

（ア）参加社会福祉法人・なんでも福祉相談員・相談件数

参加社会福祉法人数 183 法人（273 事業所）
なんでも福祉相談員数 380 名

なんでも福祉相談件数

報告月	新規受付件数	相談のべ件数	支援終結件数
6 月末	30	246	18
9 月末	36	212	16
12 月末	61	216	28
3 月末	60	144	26
合 計	187	818	88

(イ) 運営委員会の開催

期日・場所等	内 容
5 月 21 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 18 名	第 1 回運営委員会 協議事項 ・ 令和 2 年度の実施状況について ・ 令和 2 年度の予算執行状況について ・ 令和 3 年度の事業計画について ・ 令和 3 年度の収支計画について
1 月 24 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 21 名	第 2 回運営委員会 報告事項 (1) 令和 3 年度の実施状況について (2) あり方検討会での検討結果について 協議事項 (1) 今後の事業展望並びにスケジュールについて (2) 会費について

(ウ) 会議・研修会等の開催

【全体会議・基礎研修会】

期日・場所等	内 容
8 月 20 日より配信 (動画配信) 受講者数 175 名	令和 3 年度全体会議・相談員基礎研修会 ・ 事業説明 「群馬県ふくし総合相談支援事業の実施状況及び今後の方向性について」 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 藤原 理緒 (群馬県ふくし総合相談支援事業 事務局) ・ 行政説明 「地域福祉施策の動向等について」 群馬県健康福祉部健康福祉課 主任 関口 郁也 ・ 講義 「地域における児童相談所の役割と支援」 講師 群馬県中央児童相談所 所長 富田 昌志

【新任者研修会】

期日・場所等	内 容
8 月 20 日より配信 (動画配信) 受講者数 53 名	令和 3 年度新任者研修会 ・講義① 「社会福祉制度について」 講師 群馬県健康福祉部健康福祉課 ・講義② 「主な社会資源について学ぶ～生活保護と生活困窮者自立支援」 講師 群馬県健康福祉部健康福祉課 「主な社会資源について学ぶ～高齢福祉サービスの種類・体系」 講師 群馬県健康福祉部介護高齢課 「主な社会資源について学ぶ～障害福祉サービスの種類・体系」 講師 群馬県健康福祉部障害施策課 「主な社会資源について学ぶ～児童福祉サービスの種類・体系」 講師 群馬県私学・子育て支援課 ・講義③ 「なんでも福祉相談員マニュアルの解説」 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 藤原 理緒 (群馬県ふくし総合相談支援事業 事務局)

【相談員スキルアップ研修】

期日・場所等	内 容
3 月 18 日より配信 (動画配信) 受講者数 51 名	令和 3 年度なんでも福祉相談員スキルアップ研修会 講義①「法律関係の相談を受けた場合の相談対応のポイント」 講義②「相談を入口とした司法と福祉の協働について」 講義③「弁護士・弁護士会について」 講師 法律事務所わだち 弁護士 山本 聡

【地区別連絡会議】

期日・場所等	内容	地区
10 月 1 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 18 名	・講義 「求められる地域化」 講師 東京福祉大学 准教授 北爪 克洋	前橋地区
10 月 15 日 高崎市 参加者 23 名	・事業説明 「今後の事業展開について」 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 (群馬県ふくし総合相談支援事業事務局)	高崎・安中
10 月 22 日 長野原町 参加者 15 名	・情報交換 主事 高岸 洋介	吾妻郡
10 月 29 日 富岡市 参加者 18 名		富岡・藤岡・ 多野郡・甘楽郡

期日・場所等	内容	地区
11月5日 沼田市 参加者 23 名	・講義 「求められる地域化」 講師 東京福祉大学 准教授 北爪 克洋 ・事業説明 「今後の事業展開について」 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 (群馬県ふくし総合相談支援事業 事務局) 主事 高岸 洋介 ・情報交換	沼田・利根郡
11月5日 渋川市 参加者 24 名		渋川・北群馬郡
11月12日 玉村町 参加者 23 名		伊勢崎・玉村
11月19日 桐生市 参加者 25 名		桐生・みどり
11月19日 太田市 参加者 23 名		太田・館林・ 邑楽郡

【地区別情報交換会】

期日・場所等	内 容
3月7日 渋川市 参加者 12 名	なんでも福祉相談員情報交換会（渋川・吉岡地区） ・事務局説明 「群馬県ふくし総合相談支援事業概要と助成事業の活用について」 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 主事 高岸 洋介 (群馬県ふくし総合相談支援事業 事務局) ・情報交換 (1) 渋川・吉岡地区における今後の取組について (2) その他
3月9日 藤岡市 参加者 14 名	なんでも福祉相談員情報交換会（富岡・藤岡・多野郡・甘楽郡地区） ・基調説明 「重層的支援体制整備事業の概要について」 群馬県健康福祉部健康福祉課 主任 関口 郁也 ・事務局説明 「群馬県ふくし総合相談支援事業概要と助成事業の活用について」 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 主事 高岸 洋介 (群馬県ふくし総合相談支援事業 事務局) ・話題提供 「なんでも福祉相談員と生活困窮者自立相談支援事業との連携について」 藤岡市社会福祉協議会 藤岡市自立相談支援機関 篠原 康一 ・情報交換

(エ) (新) なんでも福祉相談出張相談の実施

期日・場所等	内 容
12月4日 伊勢崎市 参加者 12 名	第 15 回障害者施設等製品共同販売会へなんでも福祉相談出張相談ブースを出展 活動内容 ・設置ブースでの相談受付 ・チラシ・リーフレット配布による周知活動 等

(オ) (新) あり方検討会の開催

期日・場所等	内 容
7月29日 前橋市 参加者 18 名	第 1 回 ・群馬県ふくし総合相談支援事業の現状と課題について
8月23日 前橋市 (web 開催) 参加者数 14 名	第 2 回 ・事業の整理と今後の事業展望について
10月4日 前橋市 (web 開催) 参加者 16 名	第 3 回 ・他都道府県における相談事業等の実施状況について ・会員相互及び関係機関との連携強化について ・今後の事業展開について
10月25日 前橋市 参加者 12 名	第 4 回 ・大阪しあわせネットワークについて ・事業周知の進め方について ・会員相互及び関係機関との連携強化と事業の普及・啓発について
12月3日 前橋市 参加者 16 名	第 5 回 ・検討会での提言まとめについて 【提言内容】 提言 1 相談窓口としての役割や位置づけの明確化 ・困っている人が支援機関に繋がるための仕組みとして位置付け 提言 2 事業参加形態の多様化 ・サポート会員（仮称）の新設 提言 3 事業運営体制の整備 ・事業推進部会の設置
1月24日 前橋市	運営委員会へ提言書の提出

②社会福祉法人等の経営基盤の強化

・経営相談事業

(ア) 福祉施設経営指導による専門相談の実施

社会福祉法人及び社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と適切な利用者処遇の向上を目指して、県社会福祉法人経営者協議会と連携のもとに情報提供、人材確保・育成、経営相談事業等を次のように実施した。

a 対 象 県内の社会福祉法人

b 実施主体 群馬県社会福祉協議会、群馬県社会福祉法人経営者協議会

※ 福祉施設経営指導員の配置状況は次のとおりである。

経営指導員	内 訳	
	会計経理（税理士）	労務（社会保険労務士）
2	1	1

相談事項の内容別件数

内 容	件数
1 入所者処遇	0
2 施設経営一般	20
3 職員処遇	1
4 会計・税務	2
5 安全・防災	17
6 衛生管理	0
7 施設整備	0
8 人材確保対策	0
9 労使問題	0
10 預り金	0
11 地域交流	0
12 その他	1
合 計	41

③福祉サービスの質の向上に向けた取組

・福祉サービス第三者評価事業

第三者評価事業の受審促進に向け普及啓発を行うとともに、事業実施に関する諸課題の整理及びそれらの課題に対する解決策の検討を行うため、有識者による「群馬県福祉サービス第三者評価事業あり方検討会」を設置し、協議・検討結果について群馬県社協会長に提言書を提出した。

(ア) 福祉サービス評価推進センターぐんま（推進組織）の運営

期日・場所等	内 容
5 月 17 日 前橋市 参加者 6 名	第 1 回運営委員長・専門委員会委員長会議 (1) 令和 2 年度事業報告について (2) 令和 3 年度事業計画・運営方針について
1 月 26 日 前橋市 参加者 6 名	第 2 回運営委員長・専門委員会委員長会議 (1) 福祉サービス第三者評価事業今後のあり方に関する提言書について (2) 今後のスケジュールについて
2 月 16 日 前橋市 参加者 10 名	運営委員会 (1) 福祉サービス第三者評価事業今後のあり方に関する提言書について (2) 福祉サービス第三者評価事業普及・啓発セミナーの開催について (3) 今後のスケジュールについて

(イ) 第三者評価結果の公表と受審認定証の交付

	法人名	施設名	評価実施機関
1	社会福祉法人福育会	わたうちこども園	群馬社会福祉評価機構

(ウ) 広報啓発、受審促進

a 事業所訪問の実施

期日・場所等	内 容
6 月 23 日 富岡市 参加者 6 名	第三者評価事業の説明・受審促進 救護施設 妙義白雲寮（富岡市社会福祉協議会）

b （新）普及・啓発セミナーの開催

期日・場所等	内 容
3 月 10 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 27 名	令和 3 年度 福祉サービス第三者評価事業普及・啓発セミナー 組織力向上のための施設長・管理者等マネジメント研修 ～第三者評価を活用したサービスの質を向上させるための組織づくりを学ぶ～ 【講義】 いま、社会福祉施設に求められる“組織力”とは ～第三者評価を活用したサービスの質を向上させる組織マネジメント～ 講 師 (株) フォーサイツコンサルティング 代表取締役 浅野 睦

期日・場所等	内 容			
	【パネルディスカッション】 第三者評価で職員が変わり施設も変わる！？ ～サービスの質の向上のため、いま社会福祉施設に求められることとは～ コーディネーター (株) フォーサイツコンサルティング 代表取締役 浅野 睦 パネリスト 特別養護老人ホーム清流の郷 施設長 大谷 義隆 障害者支援施設誠光荘 施設長 真下 宗司 赤城育心こども園 園 長 深町 穰			

(エ) (新) 福祉サービス第三者評価事業あり方検討会の開催

期日・場所等	内 容
7月2日 前橋市 参加者 12 名	第 1 回 議事：福祉サービス第三者評価事業の現状と課題について
9月13日 (web 開催) 参加者 11 名	第 2 回 議事：評価手法・基準の検討について
10月18日 前橋市 参加者 11 名	第 3 回 議事：普及・啓発について
11月8日 前橋市 参加者 7 名	第 4 回 議事：評価機関の確保・評価調査者の養成について 推進組織体制について
12月3日 前橋市 参加者 11 名	第 5 回 議事：提言のまとめについて 【提言内容】 提言 1 評価基準・評価手法の見直し ・全国共通基準への移行 ・利用者調査の導入 提言 2 評価機関の認証、評価調査者の養成 ・新規評価機関・評価調査者の確保 ・評価調査者養成研修等の内容（カリキュラム）の見直し ・研修講師の養成 ・評価調査者への支援 提言 3 評価結果の公表内容の工夫 ・公表項目の検討 ・公表情報の利便性の向上

期日・場所等	内 容
	提言 4 普及啓発・情報発信力の強化 ・プレ評価制度の実施 ・「第三者評価」イメージの定着 ・関係機関への周知 提言 5 新たな推進体制の構築 ・運営委員会の再構成 ・専門委員会の再構成
12 月 21 日 前橋市	群馬県社協会長への提言書提出

(オ) 全国会議・研修等への参加等

期日・場所等	内 容
6 月 8 日 (web 開催)	福祉サービス第三者評価事業「評価事業普及協議会」
11 月 16 日 ～11 月 30 日 (web 開催)	福祉サービス第三者評価事業「評価調査者指導者研修」 基礎的研修（動画配信）

・福祉サービス運営適正化委員会事業

(ア) 福祉サービス運営適正化委員会事業（本委員会）

期日・場所等	協議事項
第 1 回 5 月 25 日 前橋市 (集合&Web 開催) 参加委員 11 名	(1) 令和 2 年度福祉サービス運営適正化委員会の事業報告について (2) 令和 3 年度福祉サービス運営適正化委員会の事業計画について

(イ) 運営監視合議体開催状況

期日・場所等	協議事項
第 1 回 5 月 25 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加委員 5 名	(1) 日常生活自立支援事業 事業報告について (2) 基幹社協訪問調査について
第 2 回 12 月 14 日 前橋市 参加委員 6 名	・報告事項 (1) 日常生活自立支援事業の実施状況について (2) 基幹社協訪問調査の報告について ・協議事項 (1) 基幹社協訪問調査にかかる指摘事項等について (2) その他

(ウ) 福祉サービス利用援助事業実施社協に対する訪問調査

期日・場所等	協議事項
10月13日 富岡市 委員1名、事務局1名	・福祉サービス利用援助事業の実施状況について
10月21日 桐生市 委員2名、事務局1名	
10月28日 伊勢崎市 委員2名、事務局1名	
11月24日 前橋市 委員2名、事務局1名	

(エ) 苦情解決合議体開催状況

期日・場所等	協議事項
第1回 5月25日 前橋市 参加委員6名	・前回からの相談受付状況について
第2回 7月16日 前橋市 参加委員6名	
第3回 9月17日 前橋市 参加委員6名	
第4回 11月19日 前橋市 参加委員6名	・前回からの相談受付状況について ・苦情解決セミナーについて
第5回 前橋市 【中止】※	・前回からの相談受付状況について ・苦情解決セミナーについて
第6回 3月18日 前橋市 参加委員4名	・前回からの相談受付状況について ・苦情解決セミナーについて

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

(オ) 福祉サービスに関する苦情等の受付・対応状況

a 受付件数（受付方法別）

	受 付 方 法								備考
	来所		書面・電話		その他（メール）		計		
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	
計	4	0	45	27	1	0	50	27	

b 種別・申出人の属性

区分	利用者		家族		代理人		職員		その他		計	
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
高齢者	4	0	3	4	0	0	1	2	0	0	8	6
障害者	14	4	2	1	1	1	1	2	0	1	18	9
児 童	0	0	16	1	0	0	0	0	2	0	18	1
その他	4	6	0	3	0	0	0	0	2	2	6	11
合 計	22	10	21	9	1	1	2	4	4	3	50	27

c 種別並びに受付内容の区分

区 分	苦 情							
	苦情受付件数	苦情解決の結果						
		①相談援助	②紹介伝達	③あつせん	④県へ通知	⑤その他	⑥継続中	⑦意見・要望
①サービス内容（職員の接遇）	19	8	6	0	0	5	0	0
②サービス内容（サービスの質や量）	9	6	2	0	0	1	0	0
③利用料	3	1	1	0	0	1	0	0
④説明・情報提供	9	5	4	0	0	0	0	0
⑤被害・損害	2	0	1	0	0	1	0	0
⑥権利侵害	3	0	3	0	0	0	0	0
⑦その他	5	1	2	0	0	2	0	0
合 計	50	21	19	0	0	10	0	0

(カ) 事業者訪問

期日・場所等	内 容
11月12日 前橋市 事務局1名	第三者委員会議への参加・助言 社会福祉法人 富士見会
11月12日 前橋市 事務局1名	苦情対応研修会への参加 社会福祉法人 富士見会

(キ) 選考委員会の開催状況

期日・場所等	協議事項
第1回 5月24日 (書面審議) 委員9名	(1) 運営適正化委員会委員の選任
第2回 7月1日 (書面審議) 委員9名	(1) 運営適正化委員会委員の選任

(ク) 福祉サービス苦情解決セミナーの開催

期日・場所等	内 容
3月1日～31日 (動画配信) 視聴回数970回	テーマ「コロナ禍における苦情解決」 講師 前立教大学コミュニティ福祉学部 教授 平野 方紹

(ケ) 苦情解決の仕組みの普及・啓発

期日	内 容
3月1日～31日	(1) 福祉サービス苦情解決セミナー 委員会の活動と苦情解決制度の周知を実施
通年	(2) 群馬県社会福祉協議会ホームページ 委員会の紹介や、県内事業所の苦情解決体制整備状況等の資料 を掲載。苦情体制整備WEBマニュアルの充実、セミナーの広報

(コ) 全国及び地方会議・研修会等への参加

a 運営適正化委員会事業研究協議会

期日・場所等	協議事項
6月28日 ～7月13日 (動画配信) 7月13日 (意見交換 Web)	・行政報告 厚労省社会・援護局福祉基盤課 長谷川 真也 ・説明 全国社会福祉協議会 政策企画部 部長 加藤 英三 ・説明 全国社会福祉協議会 地域福祉部 部長 高橋 良太 ・講義 前立教大学コミュニティ福祉学部 教授 平野 方紹

b 関東甲信越静ブロック運営適正化委員会委員長等連絡会・相談員連絡会

期日	協議事項
10月8日	・事前アンケートを元にした協議・情報交換

c 運営適正化委員会事業研究協議会・相談員研修会

期日・場所等	協議事項
10月28日 ～11月11日	・講義Ⅰ 前立教大学コミュニティ福祉学部 平野 方紹 ・講義Ⅱ 筑波大学人間系 大村 美保 ・講義Ⅲ 全国身体障害者施設協議会 白江 浩

基本目標Ⅱ：福祉人材の確保・育成・定着

推進項目１：福祉人材の確保に向けた取組の強化

（１）福祉人材の確保に向けた取組の推進

福祉人材センターと労働局やハローワークをはじめとする関係機関との連携を強化し、福祉業界への新規参入の促進を図った。

①福祉マンパワーセンター（福祉人材無料職業紹介所）の充実・強化

・福祉人材無料職業紹介所の運営

（ア）求人・求職等の実績

区分	取扱件数	内 容（センター・バンク別）
登録	新規求人 6,927 名	県センター2,930、高崎バンク 2,623、 太田バンク 1,374
	新規求職 1,521 名	県センター685、高崎バンク 481、太田バンク 355
紹介・採用	紹介・応募 300 名	県センター136、高崎バンク 109、太田バンク 55
	採用 208 名	県センター86、高崎バンク 74、太田バンク 48
求人求職相談	求職相談 3,455 件	県センター 1,655 来所 437、電話 507、FAX22、郵便 661、 電子メール 28、SNS0 高崎バンク 1,006 来所 394、電話 535、FAX0、郵便 59、 電子メール 17、SNS1 太田バンク 794 来所 205、電話 444、FAX4、郵便 53、 電子メール 38、SNS10、その他 40
届出	離職介護人材 54 件	届出累計 370 件
	保育人材 7 件	届出累計 28 件

（イ）情報提供・広報

「福祉人材ニュース」の発行

イベント情報等の郵送する求職者に対し、「福祉人材ニュース」及び求人一覧を送付

「民間社会福祉施設等職員共済事業」送付物へのチラシ等同封

エフエム群馬 CM 放送（月 3 回）

群馬テレビ 「テレビ年賀状」CM 放送

上毛新聞社 「介護・福祉 就職ガイドブック」掲載

エフエム尾瀬 イベント CM 放送

上毛新聞社 イベント広告掲載

（ウ）調査・研究

「令和 3 年度社会福祉施設における民間職業紹介事業者等利用実態調査」

「福祉人材無料職業紹介所 求職登録者の属性調査」

(エ) 啓発活動の強化

(新) 中学生・高校生向け福祉の仕事啓発動画作成に向け企画作成委員会を立上げ開催した。

期日・場所等
(第1回) 10月1日 前橋市 参加者 12名
(第2回) 11月1日 前橋市 参加者 11名
(第3回) 11月26日 前橋市 参加者 12名

(オ) 運営委員会の実施

期日・場所等	内容
2月4日 前橋市 (集合&web開催) 参加者 22名	・事業の実施状況について ・今後の取り組みについて

・他機関との連携

(ア) (新) 福祉人材確保に関する関係機関情報交換会

期日・場所等	参加団体／内容
第1回 6月11日 前橋市 (集合&web開催) 参加者 43名	(参加団体) 群馬県社会福祉施設経営者協議会、群馬県老人福祉施設協議会、群馬県保育協議会、群馬県知的障害者福祉協会、群馬県身体障害者施設協議会、群馬労働局・職業対策課、ハローワーク(11所)、群馬県健康福祉課・介護高齢課・私学子育て支援課、介護労働安定センター群馬支所、高崎市福祉人材バンク、太田市福祉人材バンク、群馬県福祉人材センター (内容) ・群馬労働局説明「県内の雇用状況の概要について」 ・各事業者団体より人材確保についての状況報告 ・福祉マンパワーセンター報告 ・情報交換「今後の福祉人材の確保、定着等について」等
第2回 12月21日 前橋市 (集合&web開催) 参加者 26名	(参加団体) 群馬県社会福祉施設経営者協議会、群馬県老人福祉施設協議会、群馬県保育協議会、群馬県知的障害者福祉協会、群馬県身体障害者施設協議会、群馬県健康福祉課・介護高齢課・障害政策課・私学子育て支援課、中央福祉人材センター、高崎市福祉人材バンク、群馬県福祉人材センター (内容) ・全社協中央福祉人材センター説明「コロナ禍の影響と福祉人材センターの取り組みについて」 ・福祉マンパワーセンター説明 ・情報交換「今後の未経験者の参入促進、他分野からの人材確保に向けて」等

(イ) 就職指導担当者情報交換会

a 福祉養成校連絡会議

期日・場所等	内 容
2 月 4 日 【中止】※	・説明 「福祉マンパワーセンター事業について」 ・情報交換 「県内における福祉人材の確保・育成・定着について」

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

(ウ) 養成施設・研修施設 出張相談会

会場	実施回数	人数
高崎市役所	1 回	8 名
伊勢崎市役所	1 回	5 名
介護労働安定センター	1 回	40 名
高崎医療福祉カレッジ	1 回	19 名
昌賢学園両毛サテライト	1 回	8 名
さくらカルチャーセンター	1 回	2 名
ブランドゥようざん	1 回	4 名
認定 NPO 法人じゃんけんぽん	3 回	30 名
合 計	10 回	116 名

(エ) 他機関が実施する就職相談会への協力

「幼稚園・保育園・認定こども園合同就職相談会」（群馬県保育協等 3 団体主催） 1 回

「悩みごと相談会」（連合群馬等 4 団体主催） 1 回

「看護職&介護職・医療職就職相談会」（上毛新聞社主催） 1 回

・新規参入促進・潜在福祉人材の発掘

(ア) (新) 福祉のすそ野を広げる体験事業

福祉職未経験者等を対象として、短期間の雇用契約を締結し職場体験を行う事業を 10 月より実施した。

利用者数	2 名	・登録施設数 31 施設 - 特別養護老人ホーム 17 施設、軽費老人ホーム 1 施設、 - 老人保健施設 1 施設、グループホーム 3 施設、 - 有料老人ホーム 2 施設、デイサービス 6 施設、 - ケアサポートセンター 1 施設
------	-----	--

(イ) (新) 保育士・保育園支援プロジェクト

県内の保育人材の確保・育成・定着を支援することを目的に、保育士向け、保育園向け支援を実施した。

各市園長会に対する説明会 6回	前橋市 2回	桐生市 2回	伊勢崎市 2回
-----------------	--------	--------	---------

保育分野での人材確保を目的として、潜在保育士を対象に「ほいくしかフェ」を開催した。

期日・場所等	内容
12月15日 前橋市 参加者6名	情報交換

②福祉人材バンクの活動強化

・高崎市・太田市福祉人材バンクとの連携強化

連絡会議等の開催

期日・場所等	内 容
第1回 5月27日 前橋市 参加者16名	・県社協内の組織体制の変更 ・令和3年度事業実施内容
第2回 7月7日 太田市 参加者11名	・群馬県社会福祉協議会活動推進計画 ・保育分野への取組強化
第3回 10月4日 高崎市 参加者11名	・保育士・保育所支援プロジェクト ・福祉の裾野を広げる体験事業 ・オンライン化の推進 ・社会福祉施設における民間職業紹介事業者等利用実態調査結果
第4回 2月7日 前橋市 【中止】※	・求人求職等状況 ・保育士・保育園支援プロジェクト ・福祉の裾野を広げる体験事業 ・オンライン化の推進 ・社会福祉施設における民間職業紹介事業者等利用実態調査
11月8日 前橋市 参加者7名	(研修会) ・センター事業、マッチング事業の連携のあり方検討 ・困難事例の対処法検討

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

(2) 福祉人材確保にかかる求人事業所・求職者への支援

イベント開催による求人事業所・求職者のマッチングや、求職者等に対する個別的な支援を実施した。

また、福祉施設職員等の福利厚生充実を図る取組や、新たな福祉人材の担い手確保に向けた各種貸付事業の実施を通じて福祉人材の確保・定着を推進した。

①求職者のマッチング率の向上に向けた取組

- ・施設見学会や就職相談会、セミナー

(ア) 施設見学会

期日・場所等	内容	参加者数
群馬県福祉マンパワーセンター 主催		
7月19日 沼田市	大誠会グループ ((福)久仁会等) 特別養護老人ホームくやはら	3名
1月13日 伊勢崎市 【中止】	社会福祉法人 宏池会 二葉こども園 【最小催行人数に未達のため中止】	—
3月4日 伊勢崎市 【中止】※	社会福祉法人 三友会 特別養護老人ホーム愛老園	—
高崎市福祉人材バンク 主催		
7月16日 富岡市	社会福祉法人 悠仁会 特別養護老人ホームあまてらす	8名
8月20日 高崎市 【中止】※	特定非営利活動法人 藍 LOVE 矢島	—
9月24日 安中市 【中止】※	社会福祉法人 松井田福祉会	—
10月22日 高崎市	社会福祉法人 新生会 養護老人ホーム恵泉園 等	4名
11月26日 高崎市	社会福祉法人 健生会 特別養護老人ホーム高崎花の苑	4名
太田市福祉人材バンク 主催		
7月5日 大泉町	株式会社 三英堂商事 家族の家ひまわり大泉	6名
8月4日 太田市	社会福祉法人 木崎育援会 木崎あおぞら保育園	11名
11月15日 太田市	社会福祉法人 同仁会 特別養護老人ホームみづほの里	12名
1月19日 太田市	株式会社 孫の手 デイホーム孫の手おおた	4名
1月26日 太田市 【中止】※	社会福祉法人 東毛会 障害者支援施設はるかぜ荘	—
合 計		52名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

(イ) 就職相談会

a 福祉の仕事フェア

主催：群馬県福祉マンパワーセンター

協力：高崎市福祉人材バンク、太田市福祉人材バンク

開催方法・期日・場所等	地区等	出席法人	出席者/アクセス数	内定者
対面開催				
6月29日・沼田市	利根・沼田地区	10 法人	16 名	1 名
7月13日・前橋市	前橋地区	22 法人	48 名	4 名
1月19日・渋川市	渋川・吾妻地区	12 法人	22 名	2 名
オンライン開催※				
10月1日～29日	西毛地区	18 法人	1,172 回	0 名
11月1日～30日	伊勢崎・玉村・東毛地区	10 法人	646 回	0 名
合計		72 法人	86 名/1,818 回	7 名

※県社協ホームページ上に事業者情報を掲載し、問い合わせに対応した。

b ミニ就職相談会

期日・場所等	名称	出席法人	出席者	採用数
群馬県福祉マンパワーセンター 主催				
11月25日・前橋市	「介護の日」 福祉の仕事フェア	10 法人	44 名	5 名
12月10日・中之条町	(吾妻地区) 福祉の仕事フェア	7 法人	22 名	1 名
2月16日～3月16日 オンライン開催※1	伊勢崎地区 保育士就職相談会	8 法人	293 回	3 名
高崎市福祉人材バンク 主催				
7月30日・高崎市	福祉の仕事相談会	15 法人	29 名	2 名
10月15日・高崎市	子育て中の方の就職相談会	15 法人	15 名	5 名
12月17日・富岡市	福祉の仕事相談会	12 法人	11 名	0 名
1月31日・高崎市 【中止】※2	福祉の仕事相談会	14 法人	—	—
太田市福祉人材バンク 主催				
6月19日・太田市	地区別ミニ就職面接会	17 法人	34 名	4 名
11月3日・桐生市	地区別ミニ就職面接会	16 法人	28 名	2 名
12月19日・館林市	地区別ミニ就職面接会	16 法人	19 名	4 名
合計		116 法人 ※2 除く	202 名/ 293 回	26 名

※1 県社協ホームページ上に事業者情報を掲載し、問い合わせに対応した。

※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

(ウ) ガイダンス

a 福祉の仕事ガイダンス

期日・場所等	内 容	参加者数
群馬県福祉マンパワーセンター 主催		
10 月 21 日 前橋市	障害者就労支援施設の仕事	43 名
11 月 11 日 前橋市	児童発達支援センターの仕事	8 名
12 月 2 日 前橋市	老人デイサービスセンターの仕事	8 名
11 月 16 日 前橋市	児童養護施設の仕事	11 名
高崎市福祉人材バンク 主催		
7 月 9 日 高崎市	はじめよう福祉の仕事	18 名
11 月 24 日 高崎市	元気があれば、福祉はできる	10 名
太田市福祉人材バンク 主催		
5 月 17 日 太田市	・訪問ヘルパーのお仕事 ・障害児支援のお仕事	14 名
10 月 11 日 太田市	福祉の現場で求められる人材と心構え	7 名
合計		119 名

・キャリア支援専門員による個別支援

(ア) 求職相談の実施

相談・採用件数 (延べ数)	内訳 (延べ数)
群馬県福祉マンパワーセンター	
相談件数 1,927 件	来所相談 362 件
	電話相談 1,321 件
	出張相談 244 件 (ハローワーク、ハローワーク以外、マッチング事業等)
採用件数 97 件	cool システム 91 件 cool システム以外 6 件
高崎市福祉人材バンク	
相談件数 369 件	来所相談 116 件
	電話相談 205 件
	出張相談 48 件 (ハローワーク、ハローワーク以外、マッチング事業等)
採用件数 23 件	cool システム 17 件 cool システム以外 6 件

相談・採用件数 (延べ数)	内訳（延べ数）	
太田市福祉人材バンク		
相談件数 227 件	来所相談	36 件
	電話相談	120 件
	出張相談 (ハローワーク、ハローワーク以外、マッチング事業等)	71 件
採用件数 5 件	cool システム	5 件
	cool システム以外	0 件
相談件数 2,523 件	採用件数 125 件	

(イ) 就労後相談の実施

福祉人材センター・バンク	相談件数 (延べ数)	内 訳
群馬県福祉マンパワーセンター	相談件数 90 件	来所相談 1 件
		電話相談 88 件
		訪問相談 1 件
高崎市福祉人材バンク	相談件数 7 件	来所相談 2 件
		電話相談 4 件
		訪問相談 1 件
太田市福祉人材バンク	相談件数 1 件	来所相談 1 件
		電話相談 0 件
		訪問相談 0 件
合計	98 件	

(ウ) ハローワーク等における出張相談

主 催	会 場	相談日	相談件数 (延べ数)
群馬県福祉マンパワーセンター	ハローワーク前橋	毎月第 1 木曜日	10 件
	ハローワーク渋川	毎月第 3 水曜日	9 件
	ハローワーク中之条	毎月第 4 月曜日	10 件
	ハローワーク沼田	毎月第 2 水曜日	9 件
	ハローワーク伊勢崎	毎月第 1 月曜日	7 件
高崎市福祉人材バンク	ハローワーク藤岡	毎月第 4 火曜日	10 件
	ハローワーク安中	毎月第 3 水曜日	11 件
	ハローワーク富岡	毎月第 4 水曜日	10 件
太田市福祉人材バンク	ハローワーク桐生	毎月第 2 水曜日	12 件
	ハローワーク館林	毎月第 3 火曜日	12 件
合 計			100 件

・(新) SNS による PR やオンライン相談の環境整備

LINE での情報提供を実施 登録者数 234 名

求職者とのオンライン相談ができるよう環境整備と求職者に対して、チラシ等で案内を行った。

②福祉人材の定着支援の促進

・福祉人材確保・定着支援セミナーの実施

期日・場所等	内 容
11 月 1 日 ～3 月 25 日 (動画配信) 視聴回数 145 回	説明 1「マンパワーセンターの事業について」 説明者 群馬県社会福祉協議会 群馬県福祉人材センター 説明 2「選ばれる施設を目指して」 説明者 ハローワーク前橋 統括職業指導官 大橋 映夫 説明 3「福祉施設において、職員が定着する職場を作るために」 社会保険労務士 関 一之 講義「福祉職場における人材の定着推進」 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 常任評議員 山田 雅人

・施設・事業所への訪問

福祉人材センター・バンク	施設・事業所 (延べ数)	内訳 (延べ数)
群馬県福祉マンパワーセンター	63 施設・事業所	高齢者関係分野 40 施設・事業所
		障害関係分野 13 施設・事業所
		その他関係分野 10 施設・事業所
高崎市福祉人材バンク	92 施設・事業所	高齢者関係分野 80 施設・事業所
		障害関係分野 10 施設・事業所
		児童関係分野 2 施設・事業所
太田市福祉人材バンク	64 施設・事業所	高齢者関係分野 44 施設・事業所
		障害関係分野 11 施設・事業所
		児童関係分野 9 施設・事業所
合 計	219 施設・事業所	

・介護職員相談サポートセンターの運営

(ア) 方法別相談件数

月	相談方法		計
	電話	来所	
4 月	18	11	29
5 月	18	1	19
6 月	9	7	16
7 月	23	13	36
8 月	15	6	21
9 月	25	0	25
10 月	20	9	29
11 月	25	8	33

月	相談方法		計
	電話	来所	
12 月	15	10	25
1 月	15	7	22
2 月	15	3	18
3 月	19	2	21
合計	217	77	294

(イ) 内容・方法別相談件数

相談内容	相談方法		計
	電話	来所	
労働条件	22	0	22
業務内容・量	65	5	70
利用者等	5	1	6
人間関係	20	2	22
キャリア形成	18	9	27
離職・転職	64	57	121
健康面	6	2	8
生活全面	8	1	9
その他	13	1	14
合計	221	78	299

※相談 1 件につき、複数内容の相談あり。

・福利厚生センター（ソウェルクラブぐんま）事業

都道府県事務局を受託し、会員同士の親睦やリフレッシュを目的とした旅行、食事会などの会員交流事業等を実施した。

【加入状況】

加入法人数	加入者数
100 法人（242 事業所）	4,048 名

【ソウェルクラブぐんま企画委員会】

期日・場所等	内 容
4 月 21 日 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 9 名	(1) 正副委員長の選出について (2) 令和 2 年度福利厚生センター事業報告について (3) 令和 3 年度会員交流事業の実施について (4) 情報交換

【会員交流事業】

期日・場所等	内 容	参加人数
7月31日～1月31日 群馬県内	ランチ&選べる体験ぐんま日帰りツアー	611名
8月20日～2月28日 前橋市・高崎市	グルメでリフレッシュ第1弾 「レストランスワン」食事券	455名
11月10日～3月27日 群馬県・長野県	選べる群馬の温泉1泊2日	160名
1月15日～3月31日 太田市	グルメでリフレッシュ第2弾 炭火ダイニング「燈」食事券	333名
有効期限無し 全国	グルメでリフレッシュ第3弾 ジェフグルメカード	1,278名
合 計		2,837名

【地域開発メニュー】

メニュー	内 容
FUJIYAMA 倶楽部	富士急ハイランド、さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト他、富士急グループの遊園地、ホテル、スキー場、ゴルフ場、温泉、キャンプ場等の各施設を《特別優待価格》にて利用可能
レストランスワン	ディナーコース利用で乾杯ドリンクプレゼント

・県社協民間社会福祉施設等職員共済事業

(ア)加入状況(R4.3.31現在)453法人・1,168施設／18,857人

- ・老人福祉関係施設 498施設／7,148人
- ・児童・障害福祉関係施設 274施設／4,377人
- ・保育園関係施設 352施設／6,461人
- ・社会福祉団体 44施設／ 871人

(イ)退職手当支払資金・福利厚生給付金決定状況

- a 退職手当支払資金 1,533件／ 20,800,297円
- b 福利厚生給付金 14,214件／166,612,178円
 - ・死亡弔慰金 33件／ 4,260,000円
 - ・傷病見舞金 216件／ 4,595,000円
 - ・結婚祝金 321件／ 9,630,000円
 - ・災害見舞金 2件／ 210,000円
 - ・出産祝金 481件／ 12,025,000円
 - ・入学祝金 1,590件／ 13,814,000円
 - ・長期勤続者慰労金 897件／ 15,465,000円
 - ・退職慰労金 1,736件／ 78,865,000円
 - ・特例退職慰労金 318件／ 3,240,000円
 - ・障害厚生年金見舞金 2件／ 600,000円
 - ・遺児育英資金 2件／ 400,000円
 - ・厚生保養費 0件／ 0円
 - ・生活習慣病予防検診助成金 6,325件／ 21,675,378円
 - ・レクリエーション事業助成金 2,291件／ 1,832,800円

(ウ)運営委員会の開催

a 開催状況

期日・場所	内 容
11 月 18 日 前橋市 参加者 8 名	・ 令和 2 年度事業報告について ・ 県単共済システムの全面改修について ・ システム改修にかかる業者選定について ・ 一部福利厚生給付金規定の改正について

(エ) (新) 共済システム改修にかかるプロポーザル選定委員会の開催

a 開催状況

【第 1 回】

期日・場所	内 容
11 月 25 日 前橋市 参加者 5 名	・ 選定委員会の業務内容説明 ・ 評価実施にかかる仕様、要領の協議 ・ 評価の項目、手法の協議

【第 2 回】

期日・場所	内 容
1 月 20 日 前橋市 参加者 4 名	・ ヒアリング審査の実施 ・ システム改修業者の決定

(オ) 共済実務マニュアルの資料掲載

期間	内 容
1 月 1 日～	○ 共済実務研修に代え県社協ホームページへの資料掲載 ・ 県社協 HP 上の共済関係書類の周知について ・ 事務マニュアル記載の Q&A 内容についての解説 ・ 令和 4 年度のシステム改修についての案内 ・ アンケート

③新たな福祉人材の担い手確保に向けた貸付事業の実施

- ・ 貸付制度を活用した資格取得及び就職支援

(ア) 介護福祉士修学資金等貸付事業

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額 (円)
介護福祉士修学資金	76	169	134, 429, 794
実務者研修受講資金	122	122	12, 715, 466
合 計	198	291	147, 145, 260

(イ) (新) 福祉系高校修学資金貸付事業

新規貸付決定件数	送金件数	金額 (円)
20	20	4,040,000

(ウ) 保育士修学資金等貸付事業

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額 (円)
保育士修学資金	36	72	48,608,792

(エ) 潜在有資格者の就業支援

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額 (円)
離職した介護人材の再就職準備金	27	21	8,300,000
潜在保育士就職準備金	6	11	2,200,000
合 計	33	32	10,500,000

(オ) (新) 他業種等からの介護分野への就業支援

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額 (円)
介護分野就職支援金	13	10	2,000,000
障害福祉分野就職支援金	0	0	0
合 計	13	10	2,000,000

推進項目 2：福祉人材の育成・定着に向けた取組の強化

(1) 福祉人材の育成・定着に向けた取組の推進

介護支援専門員に対して専門的知識及び技術の向上を図るため、一体的に研修を実施するとともに、保育士等に対してキャリアアップのための研修を実施した。

①介護支援専門員の資質向上研修の実施

・主任介護支援専門員更新研修

実施期間・受講者等	内 容
4 月 30 日～6 月 25 日 前橋市 (動画&集合開催) 受講者 128 名 修了者 127 名	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ・認知症に関する事例 ・入退院時等における医療との連携に関する事例 ・家族への支援の視点が必要な事例 ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

・主任介護支援専門員研修

実施期間・受講者等	内 容
5 月 23 日～7 月 24 日 前橋市 (動画&集合開催) 令和 2 年度受講決定者分 受講者 119 名 修了者 118 名 令和 3 年度受講決定者分 受講者 87 名 修了者 87 名	・主任介護支援専門員の役割と視点 ・ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援 ターミナルケア ・人材育成及び業務管理 ・運営管理におけるリスクマネジメント ・地域援助技術 ・ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現 ・対人援助者監督指導 ・個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開

・介護支援専門員専門研修課程Ⅰ

実施期間・受講者等	内 容
7 月 9 日～9 月 16 日 前橋市 (動画&web 開催) 受講者 184 名 修了者 178 名	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 ・対人個別援助技術及び地域援助技術 ・ケアマネジメントの実践における倫理 ・個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習 ・ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践 ・ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 ・認知症に関する事例 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ・入退院時における医療との連携に関する事例

実施期間・受講者等	内 容
	・ 家族への支援の視点が必要な事例 ・ 社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 ・ 状態に応じた多様なサービスの活用に関する事例 ・ 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り

・ 介護支援専門員専門研修課程Ⅱ

実施期間・受講者等	内 容
8月27日～11月25日 前橋市 (動画&web 開催) 受講者 324 名 修了者 311 名	・ 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ・ リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 ・ 認知症に関する事例 ・ 看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ・ 入退院時における医療との連携に関する事例 ・ 家族への支援の視点が必要な事例 ・ 社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 ・ 状態に応じた多様なサービスの活用に関する事例

・ 介護支援専門員実務研修

実施期間・受講者等	内 容
12月3日～3月7日 前橋市 (動画&web 開催) ・ 受講者 189 名 ・ 修了者 188 名	・ 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント ・ 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 ・ 地域包括ケアシステム及び社会資源 ・ ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義 ・ ケアマネジメントに係る法令等の理解 ・ 自立支援のためのケアマネジメントの基本 ・ ケアマネジメントのプロセス ・ 相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎 ・ 利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意 ・ 受付及び相談並びに契約 ・ アセスメント及びニーズ把握の方法 ・ 介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント) ・ 居宅サービス計画等の作成 ・ サービス担当者会議の意義及び進め方 ・ モニタリング及び評価 ・ 実習振り返り ・ 基礎理解 ・ 筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例 ・ 脳血管疾患に関する事例 ・ 内臓の機能不全に関する事例 ・ 認知症に関する事例 ・ 看取りに関する事例

実施期間・受講者等	内 容
	・アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 ・研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り

・介護支援専門員実務未経験者更新研修・再研修

実施期間・受講者等	内 容
12月3日～3月10日 前橋市 (動画&web開催) 未経験者更新研修 ・受講者 77名 ・修了者 70名 再研修 ・受講者 87名 ・修了者 81名	・介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント ・人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 ・地域包括ケアシステム及び社会資源 ・ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義 ・ケアマネジメントに係る法令等の理解 ・自立支援のためのケアマネジメントの基本 ・介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント) ・基礎理解 ・筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例 ・脳血管疾患に関する事例 ・内臓の機能不全に関する事例 ・認知症に関する事例 ・看取りに関する事例 ・アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

②介護支援専門員実務研修受講試験の実施

群馬県指定試験実施機関として介護支援専門員実務研修受講試験を実施した。

【受験者及び合格者数等状況】

期日・場所	受験申込者数	受験者数	合格者数	合格率
10月10日 前橋市	977名	890名	200名	22.5%

③保育士等の資質向上研修の実施

教育保育のキャリアアップ研修については、第1期は集合研修を実施し、第2から第4期及び認可外保育所研修、再就職希望者研修は、動画配信をした。

・教育・保育のキャリアアップ研修 第1期（集合・7分野）

分野名	期日・場所等	修了者	講師
11 乳児保育	7月26日 8月2日 (3日目振替) 前橋市	—	高崎健康福祉大学 千葉 千恵美 高崎健康福祉大学 千葉 千恵美 (第4期3日目へ振替)
21 幼児教育	(中止) ※	—	
31 障害児保育	(中止) ※	—	
41 食育・アレルギー対応	7月1日 7月7日 7月14日 前橋市	48名	共愛学園前橋国際大学短期大学 神保 京子 共愛学園前橋国際大学短期大学 尾上 治子 高崎健康福祉大学 大塚 恵美子
51 保健衛生・安全対策	7月29日 (2、3日目振替) 前橋市	—	群馬パース大学福祉専門学校 小室 浩子 (第4期2、3日目へ振替)
61 保護者支援・子育て支援	(中止) ※	—	
71 マネジメント	7月6日 7月27日 (3日目振替) 前橋市	—	東京福祉大学・大学院 大木 俊則 東京福祉大学・大学院 太田節子・佐々木貴雄 (第4期3日目へ振替)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

・教育・保育のキャリアアップ研修 第2期（eラーニング①・7分野）

分野名	視聴期間	修了者	講師
12 乳児保育	8月4日 ～9月1日	195名	①新島学園短期大学 森 静子 ②新島学園短期大学 森 静子 ③新島学園短期大学 森 静子
22 幼児教育	9月2日 ～9月30日	175名	①新島学園短期大学 森 静子 ②群馬医療福祉大学 田中 輝幸 ③新島学園短期大学 森 静子
32 障害児保育	9月15日 ～10月13日	176名	①群馬医療福祉大学 川端 奈津子 ②群馬医療福祉大学 川端 奈津子 ③群馬医療福祉大学 川端 奈津子
42 食育・アレルギー対応	9月2日 ～9月30日	177名	①共愛学園前橋国際大学短期大学 神保 京子 ②共愛学園前橋国際大学短期大学 尾上 治子 ③高崎健康福祉大学 大塚恵美子

分野名	視聴期間	修了者	講師
52 保健衛生・安全 対策	8月4日 ～9月1日	159名	①群馬パース大学福祉専門学校 小室 浩子 ②群馬パース大学福祉専門学校 小室 浩子 ③群馬パース大学福祉専門学校 小室 浩子
62 保護者支援・子 育て支援	9月15日 ～10月13日	183名	①群馬パース大学福祉専門学校 田子 文子・井上 暁子 ②群馬パース大学福祉専門学校 西川 君代 ③群馬パース大学福祉専門学校 小林 由井子・剣持 佐智子
72 マネジメント	9月2日 ～9月30日	156名	①元・群馬大学 渡邊 俊 ②元・群馬大学 渡邊 俊 ③元・群馬大学 渡邊 俊

・教育・保育のキャリアアップ研修 第3期（eラーニング②・7分野）

分野名	視聴期間	修了者	講師
13 乳児保育	10月1日 ～10月29日	176名	①高崎健康福祉大学 千葉 千恵美 ②高崎健康福祉大学 千葉 千恵美 ③高崎健康福祉大学 千葉 千恵美
23 幼児教育	10月15日 ～11月12日	166名	①新島学園短期大学 渡邊 哲也 ②新島学園短期大学 渡邊 哲也 ③新島学園短期大学 渡邊 哲也
33 障害児保育	11月1日 ～11月29日	184名	①育英短期大学 栗山 宣夫 ②育英短期大学 栗山 宣夫 ③育英短期大学 倉林 正
43 食育・アレルギー 一対応	10月1日 ～10月29日	144名	①共愛学園前橋国際大学短期大学 神保 京子 ②共愛学園前橋国際大学短期大学 尾上 治子 ③高崎健康福祉大学 大塚 恵美子
53 保健衛生・安全 対策	11月1日 ～11月29日	145名	①東京福祉大学・大学院 佐野 葉子 ②東京福祉大学・大学院 橋本 由利子 ③東京福祉大学・大学院 佐野 葉子
63 保護者支援・子 育て支援	10月15日 ～11月12日	167名	①群馬医療福祉大学 川端 奈津子 ②群馬医療福祉大学 川端 奈津子 ③群馬医療福祉大学 川端 奈津子
73 マネジメント	10月15日 ～11月12日	116名	①東京立正短期大学 鈴木 健史 ②東京立正短期大学 鈴木 健史 ③東京立正短期大学 鈴木 健史

・教育・保育のキャリアアップ研修 第4期（eラーニング③・7分野）

分野名	視聴期間	修了者	講師
14 乳児保育	11月15日 ～12月13日	168名	①高崎健康福祉大学 千葉 千恵美 ②高崎健康福祉大学 千葉 千恵美 ③高崎健康福祉大学 千葉 千恵美
24 幼児教育	1月11日 ～2月8日	136名	①新島学園短期大学 渡邊 哲也 ②新島学園短期大学 渡邊 哲也 ③新島学園短期大学 渡邊 哲也
34 障害児保育	1月11日 ～2月8日	149名	①群馬医療福祉大学 川端 奈津子 ②群馬医療福祉大学 川端 奈津子 ③群馬医療福祉大学 川端 奈津子
44 食育・アレルギー対応	11月15日 ～12月13日	95名	①共愛学園前橋国際大学短期大学 神保 京子 ②共愛学園前橋国際大学短期大学 尾上 治子 ③高崎健康福祉大学 大塚 恵美子
54 保健衛生・安全対策	12月15日 ～1月12日	144名	①東京福祉大学・大学院 佐野 葉子 ②東京福祉大学・大学院 橋本 由利子 ③東京福祉大学・大学院 佐野 葉子
64 保護者支援・子育て支援	12月15日 ～1月12日	158名	①群馬パース大学福祉専門学校 田子 文子・井上 暁子 ②群馬パース大学福祉専門学校 西川 君代 ③群馬パース大学福祉専門学校 小林 由井子・剣持 佐智子
74 マネジメント	12月15日 ～1月12日	161名	①東京立正短期大学 鈴木 健史 ②東京立正短期大学 鈴木 健史 ③東京立正短期大学 鈴木 健史

・認可外保育施設研修

期日・場所等	内 容
1月11日～3月25日 （動画配信） 申込数74名	1 群馬県における制度説明 説明者 群馬県私学・子育て支援課 2 保育実践（遊びの手法） 講師 群馬医療福祉大学 田中 輝幸 3 アレルギー疾患の理解と対応 講師 高崎健康福祉大学 大塚 恵美子 4 障害児、気になる子への対応 講師 育英短期大学 栗山 宣夫 5 保護者対応、子育て支援、虐待予防 講師 群馬医療福祉大学 川端 奈津子 6 「福祉施設におけるリスクマネジメント研修」 講師 株式会社フォーサイツコンサルティング 浅野 睦

・再就職希望者研修

期日・場所等	内 容
1 月 11 日～3 月 25 日 (動画配信) 申込数 8 名	1 群馬県における制度説明 説明者 群馬県私学・子育て支援課 2 保育実践(遊びの手法) 講師 群馬医療福祉大学 田中 輝幸 3 アレルギー疾患の理解と対応 講師 高崎健康福祉大学 大塚 恵美子 4 障害児、気になる子への対応 講師 育英短期大学 栗山 宣夫 5 保護者対応、子育て支援、虐待予防 講師 群馬医療福祉大学 川端 奈津子

(2) 階層別研修の充実

福祉施設職員等に職位に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援するため研修会を実施した。

①福祉施設職員等の資質向上研修の実施

・キャリア形成に資する研修

(ア) 福祉職員「新任職員研修」

期日・場所等	内 容
日程①1 月 26 日 48 名 日程②1 月 27 日 49 名 日程③2 月 2 日 36 名 日程④2 月 8 日 33 名 日程⑤2 月 9 日 21 名 日程⑥2 月 10 日 18 名 日程⑦2 月 14 日 15 名 (web 開催) 受講者 220 名	講義・演習「職場における新任職員としての役割」 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 講師 大口 達也 助手 武井 祐希

(イ) 福祉職員「中堅職員研修」

期日・場所等	内 容
日程①2 月 15 日 55 名 日程②2 月 18 日 46 名 日程③2 月 21 日 43 名 日程④2 月 22 日 29 名 日程⑤3 月 8 日 27 名 日程⑥3 月 9 日 23 名 (web 開催) 受講者 223 名	講義・演習「職場における中堅職員としての役割」 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 講師 大口 達也 助手 武井 祐希

(ウ) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「チームリーダーコース」

期日・場所等	内 容
A日程 55 名 11 月 29 日、11 月 30 日 (web 開催)	講義・演習 講師 合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造
B日程 58 名 12 月 2 日、12 月 3 日 (web 開催)	
修了者 113 名	

・組織マネジメント力を高める研修

(ア) (新) 福祉施設におけるリスクマネジメント研修

期日・場所等	内 容
11 月 10 日～3 月 25 日 (動画配信) 視聴回数 643 回	「福祉施設におけるリスクマネジメント研修」 講師 株式会社フォーサイツコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦

(イ) (新) 理事・評議員・施設長研修

期日・場所等	内 容
1 月 26 日 (web 開催) 受講者 135 名	・講演「福祉施設オペレーションDX ～現場のICT・テクノロジーの導入～」 講師 社会福祉法人善光会 理事 宮本 隆史 ・導入事例報告 【高齢】 特別養護老人ホームゆたか 理事長 島田 幸治 【児童】 わたうちこども園 園長 福島 馨 【障害】 障害者支援施設は一とふるチハヤ 支援スタッフ・PR 担当 チーフ 福本 昌彦

基本目標Ⅲ：災害福祉支援体制の強化

推進項目 1：災害に備えた体制の整備

（１）災害福祉支援ネットワークの機能強化

福祉避難所を含む災害時に福祉施設が果たす役割等が有効に機能するように、平時からの関係者間の連携体制の強化を図り、要配慮者の命を守る仕組みづくりを推進した。

①施設間連携による相互応援体制の強化

・災害福祉支援ネットワーク全体検討会の開催

期日・場所等	内 容
1 日目 7 月 20 日 (書面開催) 参加者 21 名	◆協議事項 (1) 令和 3 年度群馬県災害福祉支援ネットワークの取り組み (2) 令和 3 年度相互応援協定運用に関する図上訓練 (3) 令和 3 年度災害派遣福祉チーム関係研修 (4) 全国経営協 災害福祉支援体制構築助成事業の活用
2 日目 11 月 19 日 (書面開催) 参加者 21 名	◆協議事項 (1) 令和 3 年度相互応援協定運用に関する図上訓練 (2) 令和 3 年度災害派遣福祉チーム員登録研修
3 日目 3 月 25 日 (書面開催) 参加者 21 名	◆協議事項 (1) 相互応援協定運用に関する図上訓練について (2) 災害派遣福祉チーム員登録・養成状況について (3) 令和 4 年度の取り組みについて

・施設間連携部会の開催

期日・場所等	内 容
1 日目 10 月 27 日 前橋市 参加者 22 名	◆説明事項 (1) 施設間相互応援について (2) 災害時情報共有システムについて (3) 災害時保健医療福祉活動情報支援システム-D24H-について ◆協議事項 (1) 令和 3 年度の施設間相互応援協定に基づく訓練について (2) 災害時の連絡先について
2 日目 2 月 14 日 (Web 開催) 参加者 18 名	◆協議事項 (1) 訓練の振り返りについて (2) 次年度の計画について

・種別協議会との連携強化のための事務局会議の開催

期日・場所等	内 容
11 月 24 日 前橋市 参加者 13 名	◆話題提供 災害時情報共有システムについて ◆説明事項 (1) 施設間相互応援の内容と災害時の連絡体制について (2) 令和 3 年度の訓練について

・小地域における連携体制の構築のための図上訓練の開催

期日・場所等	内 容
12月21日 前橋市 参加者22名	◆説明事項 災害時保健医療福祉活動情報支援システム-D24H-について ◆協議事項 情報伝達訓練の結果報告及び協定書に基づいた応援等調整訓練について

②施設の事業継続計画（BCP）の策定支援

期日・場所等	内 容
①6月25日 ～26日 (Web開催) 参加者37名	モデルBCP策定検討会の開催（モデル2期・4法人） 社会福祉法人永光会 社会福祉法人邑友会 社会福祉法人恵の園 社会福祉法人吉栄会
②10月8日、 9日、23日 (web開催) 参加者33名	モデルBCP策定検討会の開催（モデル3期・4法人） 社会福祉法人尾瀬長寿会 社会福祉法人三山黎明会 社会福祉法人康龍会 社会福祉法人三晃福社会
③12月11日、 13日、20日 (web開催) 参加者36名	モデルBCP策定検討会の開催（モデル3期・4法人） 社会福祉法人尾瀬長寿会 社会福祉法人三山黎明会 社会福祉法人康龍会 社会福祉法人三晃福社会

③（新）福祉避難所の受入体制と機能強化

期日・場所等	内 容
11月27日 安中市 参加者49名	初動対応訓練の実施と検証 職員への安否確認 参集者による建物の外観チェック 内部の備品等のチェック 公用車・ガソリン等のチェック 居宅等サービス利用者の安否確認（電話） 福祉避難所受入準備 利用者の安否確認（訪問） 福祉避難所の受入対応訓練

（２）災害派遣福祉チーム（ぐんま DWAT）の機能強化

災害時に備え、平時からの訓練や研修、連絡会議等を通じて、行政・保健・医療と福祉の連携体制の整備を図った。

①保健・医療・福祉の連携体制の整備

・（新）保健福祉事務所と連携した避難所運営研修

期日・場所等	内 容
8月24日 （web開催） 参加者 55名	群馬県東部振興局と共催 講演1「コロナ禍における避難所運営 ～令和2年7月豪雨の実践から」 講師 ピースボート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 講演2「群馬県 DWAT の活動と避難所運営・要配慮者支援」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援専門幹 鈴木 伸明
1月25日 （web開催） 参加者 50名	群馬県甘楽・富岡振興局と共催 講演1「コロナ禍における避難所運営 ～令和2年7月豪雨の実践から」 講師 ピースボート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 講演2「群馬県 DWAT の活動と避難所運営・要配慮者支援」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援専門幹 鈴木 伸明

②チーム員の資質向上に向けた取組強化

・分野別研究会（高齢者支援）

期日・場所等	内 容
①12月7日 ②1月18日 ③2月22日 ④3月23日 （web開催） 参加者 各回 10名	話題提供「精神保健の視点から避難所生活を考える」 提供者 相談支援事業所ゆりの木 管理者 長坂 勝利 事例検討「避難生活における配慮が必要な高齢者等への関わり方」 討議「避難生活における配慮が必要な高齢者等への関わり方」 まとめ「避難生活における配慮が必要な高齢者等への関わり方」

・分野別研究会（障害者支援）

期日・場所等	内 容
① 6月8日 ② 9月30日 ③11月9日 ④12月14日 ⑤ 2月15日 （web開催） 参加者 各回 10名	話題提供「日高特別支援学校における福祉避難所設営訓練及び平時からの備えについて」 提供者 埼玉県立日高特別支援学校 教諭 斎藤 朝子 事例検討「令和元年東日本台風における障害者支援施設けやきの郷への福祉支援活動について」 提供者 社会福祉法人みぬま福祉会 総合施設長 山路 久彦 分散討議「障害者のための避難生活環境の改善について」 全体討議「障害者のための避難生活環境の改善について」 まとめ「障害者のための避難生活環境の改善について」

・分野別研究会（子ども・女性支援）

期日・場所等	内 容
① 4 月 30 日	話題提供「避難生活における女性、子どもへの関わり方」 提供者 CAP おかやま 代表 山下 明美
② 8 月 25 日	全体討議「子ども、女性にとって望ましい避難所の環境とは？」
③ 12 月 22 日	話題提供「災害支援に役立つ家庭内暴力の基礎知識」 提供者 前橋赤十字病院 医療社会福祉課長 中井 正江
④ 1 月 19 日	分散討議「女性のための避難生活環境の改善について」
⑤ 2 月 28 日 (web 開催)	分散討議「子どものための避難生活環境の改善について」
参加者 各回 10 名	

・群馬県災害派遣福祉チーム員養成研修

期日・場所等	内 容
1 日目 ① 6 月 28 日 前橋市 参加者 27 名	講座Ⅰ「災害福祉支援 NW の仕組みと災害派遣福祉チームの役割」 講師 群馬県健康福祉部健康福祉課 地域福祉係 主任 関口 郁也 講座Ⅱ「避難所運営を考える」 ～避難所で発生し得るリスクの理解と備え～ 講師 ピースポート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 講座Ⅲ「災害時要配慮者の視点で避難所運営を考える」
2 日目 ② 7 月 20 日 前橋市 参加者 27 名	講座Ⅳ「災害時の要配慮者支援の実際①」 講座Ⅴ「災害時の要配慮者支援の実際②」 講師 華頂短期大学 教授 武田 康晴 講座Ⅵ「運営支援者の姿勢について」 講師 OfficeSONOZAKI 代表 園崎 秀治

・災害派遣福祉チーム員登録研修

期日・場所等	内 容
11 月 20 日 前橋市 参加者 33 名	研修Ⅰ「災害福祉支援 NW の機能と役割について」 講師 群馬県健康福祉部健康福祉課 地域福祉係 主任 関口 郁也 研修Ⅱ「災害時の保健医療活動と福祉活動の連携について」 講師 群馬県健康福祉部健康福祉課 調整・DX 係 主事 奈良 隆史 研修Ⅲ「避難所における公衆衛生活動について」 講師 群馬県健康福祉部医務課 看護係長 本島 たみ子 研修Ⅳ「避難所・避難生活を支えるために」 講師 ピースポート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 講座Ⅴ「災害時の要配慮者について」 講師 華頂短期大学 教授 武田 康晴

・（新）災害派遣福祉チーム員フォローアップ研修Ⅰ（渋川圏域）

期日・場所等	内 容
1 日目 ①1 月 20 日 （web 開催） 参加者 21 名	講義「災害派遣福祉チームの活動の実際」 講師 医療法人群栄会 田中病院 精神保健福祉士 篠原 智哉
2 日目 ②2 月 16 日 （web 開催） 参加者 21 名	ディスカッション 進行 ぐんま DWAT 研修・企画に関する検討員会 事例検討「災害派遣福祉チームの活動の実際」 講師 群馬リハビリテーション病院 ソーシャルワーカー 小川 晋平 情報交換・意見交換 進行 ぐんま DWAT 研修・企画に関する検討員会

③社協災害ボランティアセンターとの連携強化

・（新）DWAT 派遣シミュレーション

期日・場所等	内 容
10 月 24 日 安中市 参加者 33 名	①配慮スペース設置訓練 ②なんでも相談対応訓練 ③段ボールベッド組立訓練 ④要配慮者アセスメント訓練 ⑤生活支援ボランティアの需給調整訓練

推進項目２：災害ボランティア活動への支援

（１）多様な災害ボランティア関係団体との連携

災害ボランティアセンターの運営をはじめとする災害時の対応は、被災者の福祉的支援と被災した地域の復旧や復興を目的とする一般・専門ボランティア、NPO 団体、行政、社協、その他関係機関・団体等の連携・協働により進められるため、平時からのネットワークの構築を図った。

①多様な関係団体とのネットワーク強化

・関係団体・企業との協定の推進

- （ア）６月１日 ライオンズクラブ国際協会３３３－Ｄ地区との災害時における相互協力に関する協定の締結
- （イ）２月２１日 群馬ヤクルト販売株式会社との地域社会づくり包括連携協定の締結
- （ウ）市町村社協と公益社団法人日本青年会議所 関東地区群馬ブロック協議会との協定締結の推進

期日・場所等	内 容
企業・団体との協定 ６月１日 ２月２１日	ライオンズクラブ国際協会３３３－Ｄ地区との災害時における相互協力に関する協定の締結 群馬ヤクルト販売株式会社との地域社会づくり包括連携協定の締結
青年会議所との協定 １０月４日 １０月２１日 １０月２９日 １１月２６日 １１月３０日 １２月３日 １２月７日 １２月１７日	高崎青年会議所と高崎市社協との災害連携協定締結 富岡青年会議所と富岡市社協との災害連携協定締結 藤岡青年会議所と多野・藤岡管内市村社協との災害連携協定締結 富岡青年会議所と南牧村社協との災害連携協定締結 〃 と下仁田町社協との災害連携協定締結 〃 と甘楽町社協との災害連携協定締結 沼田青年会議所と利根・沼田管内市町村社協との災害連携協定締結 太田青年会議所と太田市社協との災害連携協定締結
市町村行政との協定 ５月３１日 ５月３１日 ９月１日 １０月１日 １０月１５日 １０月１９日 １１月４日 ３月２４日 ３月２５日 ３月２５日	市町村災害ボランティアセンターの協定に掛かる締結状況 ※令和３年度中に締結した市町村社協 榛東村社協 上野村社協 神流町社協 太田市社協 安中市社協 前橋市社協 川場村社協 伊勢崎市社協 沼田市社協 富岡市社協

(エ) 県災害時救援ボランティア連絡会議への協力

期日・場所	内 容
11 月 4 日 前橋市 (集合開催) 参加者 26 名	(1) 各構成団体の最近の活動状況について (2) 新型コロナウイルス感染症流行下における災害ボランティアセンター活動について (3) 災害時における多様な被災者支援主体の連携について

(2) 災害ボランティアセンターの運営支援

災害ボランティアセンターを取り巻く環境が変化中、現場の状況に柔軟な対応が可能となるよう、ツールの整備、設置・運営研修を通じた災害支援者の資質向上と体制整備を図った。

①市町村災害ボランティアセンターの設置・運営支援

災害ボランティアセンターの運営者を養成するための研修を開催した。

・(新) 協働型災害ボランティアセンター運営者養成研修(群馬県との共催)

期日・場所等	内 容
1 日目 11 月 15 日 前橋市 (集合開催) 参加者 84 名	講義「協働型災害 VC 運営者養成研修のねらいと今後の災害支援活動の展開について」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援専門幹 鈴木 伸明 講義「災害に関する基礎知識と災害支援活動について」 講師 Office SONOZAKI 園崎 秀治 講義・ワーク「災害ボランティアセンターを理解する ～何のため、誰のための災害 VC か～」 講師 日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 対話・講義 災害ボランティア活動を支援するネットワークと人・もの・資金 ＜ファシリテーター＞ Office SONOZAKI 園崎 秀治 ＜事例共有者＞ ・公益社団法人日本青年会議所 関東地区群馬ブロック協議会 運営専務 齋藤 宏平 ・群馬県生活協同組合連合会 専務理事 針谷 勉 ・群馬県共同募金会 係長 星野 久子
2 日目 12 月 1 日 前橋市 (集合開催) 参加者 76 名	講義・ワーク 災害 VC に求められる ICT の活用について 講師 Office SONOZAKI 園崎 秀治 対話・講義 災害ボランティアセンターを理解する ～専門ボランティア活動の視点から学ぶ、何のため、 誰のため災害 VC か～ ファシリテーター: 日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 事例共有者: OPEN JAPAN 肥田 浩 研修全体の振り返り 講師 Office SONOZAKI 園崎 秀治 共有者 日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦

②災害時における市町村社協の体制整備支援

- ・群馬県災害ボランティアセンター運営支援体制の構築に向けた情報交換会

期日・場所等	内 容
3 月 17 日 前橋市 参加者 7 名	(1) 災害 VC 運営者（運営支援者）養成研修について (2) 災害用資機材の整備等について (3) 災害 VC 関係 各種様式について (4) その他（災害を契機として発生する生活課題の包括的解決）

③市町村社協の事業継続計画（BCP）策定の推進

- ・市町村社会福祉協議会事業継続計画（BCP）策定研修会

期日・場所等	内 容
2 月 4 日 前橋市 参加者 42 名	説明 「介護保険事業、障害福祉サービスにかかる 事業継続計画（BCP）について」 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 主事 山岸 拓矢 事例報告① 「障害者支援施設誠光荘の事業継続計画（BCP）について」 障害者支援施設誠光荘 支援課長 藤井 友和 事例報告② 「明和町社会福祉協議会における事業継続計画（BCP）について」 明和町社会福祉協議会 事務局長 吉本 和浩

- ・事業継続計画（BCP）推進事業助成

災害時における、事業継続と地域の要配慮屋の安否確認、地域活動等の優先順位を判断するために必要となる事業継続計画策定のために 2 か所に対して助成を行った。

助成額等	内 容
助成金 2 か所 265,000 円	①安中市社協 BCP 策定会議、災害時の初動訓練等経費 ②甘楽町社協 職員勉強会、研修会、各事業所避難訓練等経費

推進項目３：新型コロナウイルス等の感染症に対応した体制の整備

（１）感染症発生時の社会福祉施設への支援

社会福祉施設における感染症対策の強化を図るために、平時からの標準予防策の徹底や万
一に備えた対応方法等を学び、防疫力を高めた施設運営を推進した。

①平時からの防疫活動の強化

・福祉施設等に対する感染症対策研修会

期日・場所等	内 容
①11月8日 前橋市 参加者23名	行政説明 「高齢者・障害者施設への応援職員派遣支援事業について」 講師 群馬県健康福祉部障害政策課 施設利用支援係 主任 西喜多 智史 群馬県健康福祉部 感染症・がん疾病対策課 感染症危機管理室 入院・搬送調整係 主幹 武井 伸門
②11月10日 前橋市 参加者20名	実践報告① 「感染症発生時に求められる福祉施設の対応と平時からの備え」 発表者 障害者支援施設 誠光荘 支援課長 藤井 友和 実践報告② 「BCP(事業継続計画)に基づく訓練等の取り組みについて」 発表者 障害者支援施設 は一とふるチハヤ 支援員 林 なおみ

・（新）感染症対策 BCP（事業継続計画）の策定支援

期日・場所等	内 容
6月13日 (web 開催) 参加者12名	福祉施設における感染症対応 BCP（事業継続計画）の策 定に関する助言
3月2日 (web 開催) 参加者5名	【対象施設】 ①障害者支援施設は一とふるチハヤ ②特別養護老人ホーム銀杏の丘 ③障害者支援施設誠光荘 ④特別養護老人ホーム清風園
3月3日 (web 開催) 参加者6名	
3月14日 特別養護老人ホーム 清風園 参加者7名	

②施設の応援職員の派遣体制の充実・強化

・応援職員の追加募集

期日・場所等	内 容
1 回目 5 月 7 日	社会福祉法人あてに応援職員派遣事業への協力依頼を実施 ※累計 246 事業所・367 人
2 回目 3 月 25 日	

・継続した専門研修の開催（動画研修Ⅰ）

期日・場所等	内 容
【高齢者施設向け】 1 月 28 日 ～3 月 31 日 (動画配信)	研修①「高齢者・障害者施設における感染対策」 講師 群馬県済生会前橋病院 感染管理認定看護師 細渕 節子
【障害者施設向け】 2 月 1 日 ～3 月 31 日 (動画配信)	研修②「個人防護具の実際の着脱」 講師 群馬県済生会前橋病院 感染管理認定看護師 細渕 節子

・継続した専門研修の開催（動画研修Ⅱ）

期日・場所等	内 容
障害者施設用 2 月 14 日 ～3 月 31 日 (動画配信)	研修①「感染症発生時に求められる福祉施設の対応と平時からの備え」 講師 障害者支援施設 誠光荘 支援課長 藤井 友和
	研修②「BCP（事業継続計画）に基づく訓練等の取り組みについて」 講師 障害者支援施設 は一とふるチハヤ 支援員 林 なおみ

③種別協議会との連携により支援体制の充実・強化

・（新）応援派遣を想定した訓練及び図上訓練

期日・場所等	内 容
6 月 13 日 障害者支援施設 は一とふるチハヤ 参加者 15 名	感染症発生時における施設内対応訓練 ①陽性者を発見した際の対応 ②施設内のゾーニング ③導線・空間の確認 ④応援職員等の活用のルール確認

・（新）種別協議会での研修（群馬県老人福祉施設協議会）

期日・場所等	内 容
1 月 6 日 ～2 月 7 日 動画配信 参加者 179 名	生活相談員・看護研究部会合同研修会 ①応援職員派遣支援事業概要について ②BCP（事業継続計画）に基づく訓練 ③平時からの備え

(2) 感染症予防に向けた取組の強化

感染症予防対策として、平時からの事務局のワークスタイルを変更していくとともに、災害時の支援体制についても感染症対策を踏まえた体制整備を図った。

①感染症対策を含む多様な変化に対応したワークスタイルの導入・活用

・テレワークの積極導入

ノートパソコン（26 台）及びモバイル Wi-Fi（23 台）を整備し、VPN 接続用通信プログラムを導入することにより職員のテレワーク用環境を推進した。

②感染症対策を踏まえた避難所運営の体制整備

・（新）ぐんま DWAT に対するコロナ禍での避難所運営研修

期日・場所等	内 容
8 月 24 日 (web 開催) 参加者 55 名	講演 1 「コロナ禍における避難所運営 ～令和 2 年 7 月豪雨の実践から」 講師 ピースボート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里
1 月 25 日 (web 開催) 参加者 50 名	講演 2 「群馬県 DWAT の活動と避難所運営・要配慮者支援」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援専門幹 鈴木 伸明

・（新）行政・医療・保健分野と一体的に進める訓練

期日・場所等	内 容
8 月 24 日 (web 開催) 参加者 55 名	東部振興局と共催 講演 1 「コロナ禍における避難所運営 ～令和 2 年 7 月豪雨の実践から」 講師 ピースボート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 講演 2 「群馬県 DWAT の活動と避難所運営・要配慮者支援」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援専門幹 鈴木 伸明
1 月 25 日 (web 開催) 参加者 50 名	甘楽・富岡振興局と共催 講演 1 「コロナ禍における避難所運営 ～令和 2 年 7 月豪雨の実践から」 講師 ピースボート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 講演 2 「群馬県 DWAT の活動と避難所運営・要配慮者支援」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援専門幹 鈴木 伸明

③感染症対策を踏まえた災害ボランティアセンターの体制整備

・感染症対策を踏まえた災害ボランティアセンターの設置・運営研修

（新）「協働型災害ボランティアセンター運営者養成研修」（再掲）の中で、近年の災害ボランティアセンター（静岡県熱海市等）におけるコロナ対策について研修を行った。

基本目標Ⅳ：県社協の組織基盤の強化

推進項目 1：組織体制の強化

（１）人材育成の強化

県社協職員としての専門性や資質の向上に向けた取組環境を整備するとともに、OJT 環境の整備や人事評価制度の導入に向けた取組を進めた。

①OJT の推進に向けた環境整備

・（新）作業委員会の設置・協議

期日・場所等	内 容
6 月 16 日	メンター制度 打合せ会議開催
7 月 1 日 ～3 月 31 日	群馬県社会福祉協議会メンター制度 実施要領施行 以降入職 3 年目までの職員を 2 グループ（A、B）に分け 通年でメンタリングを実施 : 年 5 回

②専門性向上のための支援・環境整備

期日・場所等	内 容
4 月～8 月	令和 3 年度群馬県社会福祉協議会 新任職員研修 年 7 回開催 ・社会福祉の動向と群馬県社協の役割について ・群馬県社協の計画・スケジュール等について ・各課の概要について ・ビジネスマナーについて ・県の福祉施策について ・理事会等について ・評議員会等について ・経理規定、事務処理について
1 月～2 月 1 日間 (web 開催) 参加者 6 名	福祉人材課主催「新任職員研修」 ・福祉サービスの特性と専門職としての学び ・キャリアパスの構造と新任職員に求められる能力 ・福祉専門職に求められるコミュニケーション能力
2 月～3 月 1 日間 (web 開催) 参加者 1 名	福祉人材課主催「中堅職員研修」 ・福祉サービスの特性と専門職としての学び ・キャリアパスの構造と中堅職員に求められる能力 ・福祉専門職に求められるコミュニケーション能力
11 月～12 月 2 日間 (web 開催) 参加者 2 名	福祉人材課主催「チームリーダーキャリアアップ研修」 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・メンバーシップ ・OJT の効果的推進
2 月 28 日 1 日間 (web 開催) 参加 10 名	全社協主催「新任職員研修」 ・社協職員として働くことの意味 ・職業人として必要な自己管理を学ぶ
3 月 3 日 1 日間 (web 開催) 参加 2 名	全社協主催「中堅職員研修」 ・都道府県・指定都市社協の環境特性分析 ・中堅職員に求められる役割とスキル

③人事評価制度の導入に向けた調査

・(新)作業委員会の設置・協議

期日・場所等	内 容
通年	試行実施 ・職員研修会の開催 ・2023年からの本格導入を目標に、目標管理、能力評価について、群馬県の仕組みを準用した人事評価制度を試行的に実施した。

(2)働き方改革の推進

働き方改革の着実な実行に向けて、職員が働きやすい職場環境を整備するとともに、事務のデジタル化の促進に向けた取組を進めた。

①テレワークの推進

令和2年4月20日より取扱要領を定めて施行していたが、多様な働き方の実現、ワークライフバランスの充実、大規模災害時等における業務継続性の観点から、実施方法を見直した。

テレワーク実施：年 255 回

②事務のデジタル化の推進

・(新)作業委員会の設置・協議

業務の効率化を図るため、検討部会として新たにデジタル化推進委員会を設置した。

委員会：年 2 回開催

③年次有給休暇取得の促進

定期的に有給休暇の取得状況を確認し、積極的な取得への呼びかけを行った。

平均取得日数：14 日

取得率：72%

④産業医・衛生委員会の機能強化と充実

業務遂行に関連して発生する労働災害および健康障害を防止するとともに、職員の衛生管理と健康の保持増進を図るため、衛生委員会の開催や産業医による巡回指導を行った。

衛生委員会：年 7 回開催

個別相談：年 7 回開催

巡回指導：年 10 回開催

(3)情報発信の強化

県民や関係団体に向けて、本県の地域福祉活動等の情報提供を行うとともに、発信方法等についても強化を図った。

①ホームページの充実と SNS の導入

ホームページを随時更新し、各種情報提供を行った。

・バナー広告掲載：7 企業・団体

②機関誌 福祉ぐんまの定期発行

社会福祉施設、市町村社協、民生委員・児童委員等本会会員向けに外部委員による編集委員会において企画を行い、本会事業や社会福祉に関する各種情報を提供した。

発行回数：年４回

発行実績：各 12,000 部

推進項目 2：経営基盤の強化

（１）財源基盤の強化と既存事業の見直し

安定した法人運営を行うための環境整備を進めるとともに、自主財源の確保を強化していくための取組を進めた。

①自主財源の確保

- ・ボランティア保険広告掲載
- ・書籍販売斡旋手数料
- ・ホームページのバナー広告募集：掲載 7 企業・団体

②会員拡大に向けた取組

- ・機関紙「福祉ぐんま」等による特別賛助会員の呼び掛け 入会 1 件（累計 2 件）

③(新) 10 年小史の作成

県社協創立 70 周年を迎え、平成 23 年度から令和 2 年度までの 10 年間の足跡を記録した記念誌を発行した。前回（平成 12 年度～22 年度）の 10 年小史に引き続き、記念誌名は「この 10 年のあゆみ」とし、520 部の発行と県社協ホームページへ掲載した。

④新しい生活様式を踏まえた事業の推進

- ・オンライン用ビデオ会議・研修システム（Zoom）の環境整備 10 ライセンス
- ・オンライン用器材（マイク、カメラ、スピーカー等）の整備

（２）ガバナンスの強化

法人内の監査体制や内部統制の強化を進めた。

四半期ごとの会計専門家による外部検査を通じた監査体制の整備や内部研修等によりコンプライアンスの強化を図った。

①予算要望・政策提言の実施

期日・場所等	内 容
8 月 10 日 前橋市	予算要望会議の開催 ・要望団体代表による要望事項の説明及び予算要望活動実施の確認
9 月 17 日 前橋市	県への要望書の提出

②会計専門家による検査の実施[4 回]

4 半期毎に会計専門家による執行状況の点検・検査を実施した。

監査人 税理士 根本 明人

期日・場所等	内 容
5 月 11 日 前橋市	令和 2 年度決算について点検・検査を実施
8 月 6 日 前橋市	令和 3 年度第 1 四半期分について点検・検査を実施
11 月 2 日 前橋市	令和 3 年度第 2 四半期分について点検・検査を実施
2 月 2 日 前橋市	令和 3 年度第 3 四半期分について点検・検査を実施

③事業継続計画（BCP）の運用と見直し

期日・場所等	内 容
10 月 26 日 前橋市	災害委員会打合せ ・ 災害福祉支援センター立ち上げ準備
11 月 10 日 前橋市	第 1 回災害委員会 ・ 災害委員会の位置づけ整理 ・ 作業スケジュールの確認
12 月 14 日 前橋市	第 2 回災害委員会 ・ 応援協定について ・ 施設間相互応援協定について ・ DWAT について
1 月 13 日 前橋市	第 3 回災害委員会 ・ 群馬県社会福祉協議会 BCP について協議・見直し
2 月 14 日 前橋市	第 4 回災害委員会 ・ 群馬県社会福祉協議会 BCP について協議・見直し
3 月 14 日 前橋市	第 5 回災害委員会 ・ 群馬県社会福祉協議会 BCP について協議・見直し

④理事会・評議員会等の開催

・ 理事会

期日・場所等	内 容
第 1 回 6 月 4 日 前橋市 (集合&web 開催)	報告 第 1 号報告 会長及び常務理事の職務執行状況について (令和 2 年 12 月 1 日～令和 3 年 5 月 31 日) 第 2 号報告 令和 2 年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について 第 3 号報告 令和 3 年度生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について 第 4 号報告 組織規程の一部改正について 議案 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告について 第 2 号議案 令和 2 年度決算について 第 3 号議案 令和 2 会計年度にかかる定時評議員会の招集について 第 4 号議案 役員選任規程の一部改正について 第 5 号議案 評議員選任規程の一部改正について 第 6 号議案 理事及び監事候補者の選定について 第 7 号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について 第 8 号議案 評議員候補者の選定（欠員補充）について 第 9 号議案 次期評議員候補者の選定について

期日・場所等	内 容
第 2 回 6 月 25 日 (決議の省略)	議案 第 1 号議案 会長の選定について 第 2 号議案 副会長の選定について 第 3 号議案 常務理事の選定について 第 4 号議案 名誉会長の選任について 第 5 号議案 顧問の選任について 第 6 号議案 評議員会の招集について
第 3 回 8 月 26 日 (決議の省略)	報告 第 1 号報告 令和 3 年度生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について 第 2 号報告 本会会員の入会にかかる専決処分について 議案 第 1 号議案 令和 3 年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算について 第 2 号議案 副会長の選定について 第 3 号議案 評議員候補者（欠員補充）の選定について 第 4 号議案 第 3 期群馬県社会福祉協議会活動推進計画について 第 5 号議案 令和 3 年度（第 3 回）評議員会の開催（決議の省略）について
第 4 回 12 月 13 日 前橋市 (集合&web 開催)	報告 第 1 号報告 会長及び常務理事の職務執行状況について （令和 3 年 6 月 1 日～令和 3 年 11 月 30 日） 第 2 号報告 令和 3 年度生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について 第 3 号報告 給与規程の一部改正専決処分について 第 4 号報告 緊急小口資金等の生活福祉資金特例貸付債権管理に関わる業務委託プロポーザルの実施について 第 5 号報告 民間社会福祉施設等職員共済事務システム改修業務委託プロポーザルの実施について 議案 第 1 号議案 令和 3 年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算について 第 2 号議案 令和 3 年度（第 4 回）評議員会の招集について

期日・場所等	内 容	
第 5 回 3 月 7 日 前橋市 (集合&web 開催)	報告 第 1 号報告	民間社会福祉施設等職員共済制度事務システム改修業務委託プロポーザルの実施結果について
	第 2 号報告	緊急小口資金等の生活福祉資金特例貸付債権管理業務委託プロポーザルの実施結果について
	議案 第 1 号議案	経理規程の一部改正について
	第 2 号議案	令和 3 年度一般会計収支補正予算について
	第 3 号議案	組織規程の一部改正について
	第 4 号議案	給与規程の一部改正について
	第 5 号議案	役員報酬規程の一部改正について
	第 6 号議案	令和 4 年度役員等賠償責任保険の契約について
	第 7 号議案	令和 4 年度事業計画について
	第 8 号議案	令和 4 年度資金収支予算について
	第 9 号議案	理事候補者（欠員補充）の選定について
	第 10 号議案	令和 3 年度第 5 回評議員会の招集について

・ 評 議 員 会

期日・場所等	内 容	
第 1 回 6 月 24 日 前橋市 (集合&web 開催)	報告 第 1 号報告	令和 2 年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について
	第 2 号報告	令和 3 年度生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について
	第 3 号報告	組織規程の一部改正について
	議案 第 1 号議案	令和 2 年度事業報告について
	第 2 号議案	令和 2 年度決算について
	第 3 号議案	理事及び監事の選任について
第 2 回 8 月 5 日 (決議の省略)	議案 第 1 号議案	理事の選任について
第 3 回 9 月 8 日 (決議の省略)	報告 第 1 号報告	令和 3 年度生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について
	議案 第 1 号議案	令和 3 年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算について
	第 2 号議案	第 3 期群馬県社会福祉協議会活動推進計画について

期日・場所等	内 容
第 4 回 12 月 24 日 (集合&web 開催)	報告 第 1 号報告 令和 3 年度生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について 第 2 号報告 緊急小口資金等の生活福祉資金特例貸付債権管理に関わる業務委託プロポーザルの実施について 第 3 号報告 民間社会福祉施設等職員共済事務システム改修業務委託プロポーザルの実施について 議案 第 1 号議案 令和 3 年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算について
第 5 回 3 月 22 日 前橋市 (集合&web 開催)	報告 第 1 号報告 民間社会福祉施設等職員共済制度事務システム改修業務委託プロポーザルの実施結果について 第 2 号報告 緊急小口資金等の生活福祉資金特例貸付債権管理業務委託プロポーザルの実施結果について 第 3 号報告 経理規程の一部改正について 第 4 号報告 令和 3 年度一般会計収支補正予算について 第 5 号報告 組織規程の一部改正について 第 6 号報告 令和 4 年度役員等賠償責任保険の契約について 議案 第 1 号議案 令和 3 年度一般会計収支補正予算について 第 2 号議案 役員報酬規程の一部改正について 第 3 号議案 令和 4 年度事業計画について 第 4 号議案 令和 4 年度資金収支予算について 第 5 号議案 理事候補者（欠員補充）の選任について

・ 評議員選任・解任委員会

期日・場所等	内 容
第 1 回 6 月 4 日 前橋市	(1) 評議員の選任（欠員補充）について (2) 次期評議員の選任について
第 2 回 8 月 26 日 持ち回り	(1) 評議員の選任（欠員補充）について

・ 監事監査

期日・場所等	内 容
5 月 17 日 前橋市	(1) 令和 2 年度事業報告について (2) 令和 2 年度決算について

(3) 関係団体との連携強化

地域共生社会の実現をはじめ様々な福祉課題に対応するため、関係団体との連携体制の構築を図った。

①社会福祉大会

期日・場所等	内 容
11 月 17 日 前橋市	群馬県知事表彰・群馬県ボランティア顕彰 代表受領:6 名, 1 団体 群馬県社会福祉協議会長表彰 代表受領:6 名, 1 団体 群馬県共同募金会表彰 代表受領:1 団体

・社会福祉関係者の表彰（群馬県社会福祉協議会長表彰）

表彰区分	被表彰者数
(1) 民生委員・児童委員	31 名
(2) 保護司	18 名
(3) 社会福祉法人、社会福祉施設等	343 名
(4) 特別優良地区社会福祉協議会	2 団体
(5) 模範自立障害者	4 名
(6) 里親	2 組(4 名)
(7) 感謝(寄付)	2 名

②社会福祉関係団体の活動支援と連携強化

・福祉バス「愛の募金号」の運行： 年 10 回実施

期日・行き先等	内 容
10 月 29 日 沼田市	精神障害者関係団体「スポーツ及びレクリエーション」のため利用 利用者数：15 名
11 月 2 日 桐生市	精神障害者関係施設「スポーツ及びレクリエーション」のため利用 利用者数：18 名
11 月 12 日 みなかみ町	身体障害者関係団体「機能回復訓練」のため利用 利用者数：17 名
11 月 15 日 渋川市	知的障害者施設「スポーツ及びレクリエーション」のため利用 利用者数：19 名
11 月 24 日 富岡市	視覚障害者団体「社会見学」のため使用 利用者数：19 名
11 月 26 日 富岡市	視覚障害者団体「社会見学」のため使用 利用者数 19 名
12 月 24 日 栃木県	知的障害者施設「社会見学」のため使用 利用者数：15 名
12 月 27 日 栃木県	知的障害者施設「社会見学」のため使用 利用者数：14 名
1 月 6 日 栃木県	知的障害者施設「社会見学」のため使用 利用者数：17 名

期日・行き先等	内 容
3月1日 高崎市	視覚障害者団体「社会見学」のため使用 利用者数 19 名

③福祉の保険の周知と事故防止への取組

全国社会福祉協議会の補償制度「しせつの損害補償」、「社協の保険」、「ボランティア活動保険」について、会議・研修会資料等へ広告を掲載し周知に努めた。

年間広告掲載資料種類：30 誌

広告掲載資料発行部数：55,650 部

④社会福祉振興基金（助成事業）の運営

・社会福祉進振興基金助成事業の実施

（ア）事業概要

社会福祉振興基金は、県民からの寄付金等を基金に積み立て、その果実でもって県内民間社会福祉事業に対し必要な援助を行うことにより、社会福祉活動の健全な発展を図り、以て県民福祉の増進に寄与することを目的に実施した。

（イ）寄付受入状況

（単位：円）

区 分	金 額	受入年月日
使用済み切手等売上金	11,040 円	R3. 4. 21
生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA） 群馬県協会	30,000 円	R4. 1. 31
合 計	41,040 円	

（ウ）新規基金積立額と基金残高

項 目	金 額	備 考
（前年度 基金額）	1,175,977,839 円	
基金取崩額	100,000,000 円	投資有価証券満期償還
基金積立額	100,000,000 円	投資有価証券新規購入
債券調整額	1,122,171 円	償却減価法による満期償還 及び年度末調整額
新規基金積立額	41,040 円	R3 寄附金積立
令和3年度末 基金額	1,177,141,050 円	

（エ）基金運用実績

運 用 方 法 国債・地方債・政府保証債を自家運用
債 券 保 有 数 11 銘柄 1,177,739,392 円
受取利息配当金収入 9,651,000 円

（オ）助成事業実施状況

県内の社会福祉団体への助成（民間社会福祉活動助成事業）

団体：20 団体 事業数：21 事業 金額：2,399,187 円

※申請団体・事業数：24 団体 28 事業 うち中止・延期事業：7 事業

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「不十分」60～80%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時(2020)の現状		2025年度目標		実績	策定時との比較	達成率	評価 ※	2021年度の具体的な取組
					数値	年度	数値	年度					
1	1 包括的な支援体制の構築	1 地域における総合的な支え合い活動の創出	(1) 市町村圏域における包括的支援体制の構築	地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定	31か所	2025	35か所	2025	32か所		91.4%	達成	・地域福祉計画・地域福祉活動計画策定研修会の開催（対象：行政、社協）や、未策定町村社協への個別聞き取りの実施。 ・第2期「みなみ町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会」にアドバイザーとして参画した。
2				重層的支援体制整備事業の取組への市町村社協の参画	2021年度開始	2025	14か所	2025	3か所 ※移行準備事業を含む		21.4%	不十分	・市町村社協会長セミナー、常務理事・事務局長会議、担当者会議での情報提供の実施や地域共生社会推進セミナーを開催した。（対象：行政、社協） ・市町村社協訪問での個別聞き取りや県の市町村ヒアリングへの同行（8市町村）、地域共生社会アドバイザー派遣による個別支援を実施。 ・重層事業に取り組み市町村がまだ少ない。（4か所）
3			(2) ボランティア・市民活動と福祉教育の推進	住民による社会参加の場（ふれあい・いきいきサロン等）	2,487か所	2025	3,000か所	2025	2,529か所		84.3%	ほぼ達成	・ふれあい・いきいきサロン利根沼田研修会は内容をDVD化し配付した。
4				企業活動と市町村社協の進める地域福祉活動との協働	4企業	2025	10企業	2025	18企業	達成	180.0%	達成	・SDGs ぐんま連絡会議への加入や県産業政策課と企業・大学とのネットワークへの参画、SDGs・企業の社会貢献セミナーの開催。 ・ふくしとSDGs相談窓口の開設した。
5	2 市町村における総合的な相談支援体制の強化		(1) 権利擁護体制の構築	日常生活自立支援事業実施社協数	28か所	2022	35か所	2022	30か所		85.7%	ほぼ達成	・今年度基幹的社協が2か所増加。 ・残り5か所について、令和4年度当初基幹化に向けた働きかけを行っている。
6				法人後見事業実施社協数	3か所	2025	15か所	2025	7か所		46.7%	不十分	・体制整備に向けて必要事項の説明や課題の整理を行った。 ・実施未検討社協に対して、実施の検討を働きかけた。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「ある程度達成」60～80%未満、「不十分」60%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時(2020)の現状		2025年度目標		2021年度				
					数値	現状	数値	年度	実績	策定時との比較	達成率	評価 ※	2021年度の具体的な取組
7	I 包括的な支援体制の構築	2市町村における総合的な相談支援体制の強化	(2) 生活困窮者等への支援	支援プラン策定件数	29件		87件	2025	167件	達成	188.5%	達成	・住居確保給付金及び特例貸付に係る支援プランの策定を行った。
8				就労開始件数	6件		16件	2025	46件	達成	150.0%	達成	・特例貸付に伴う対象者への支援を行った。
9				ひきこもり家族等を対象にした集いの場の実施	2021年度開始		10回	2025	14回	達成	140.0%	達成	・当事者・家族・女子会の3に分けて実施した。
10				総合支援資金貸付件数	9件		14件	2025	4件		35.7%	不十分	・市町村社協からの相談により、貸付が必要と判断した場合、丁寧な対応を心がけ申請から決定後のフォローまで行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付の中で対応が図られた。
11				(3) 社会福祉法人等の連携強化	現況報告書の「地域における公益的な取組」記載率 (A層)	64.2%		100.0%	2025	65.8%		ある程度達成	65.8%
12	社会福祉法人等連絡会の設置 (B層)	11か所			35か所	2025	13か所		不十分	37.1%	不十分	・市町村社協に対し、連絡会設立の働きかけや設立準備会での情報提供等、設立に向けたサポートを行った。	
13	群馬県ふくし総合相談支援事業加入法人 (C層)	183法人			250法人	2025	183法人		ある程度達成	73.2%	ある程度達成	・あり方検討会を設置し、更なる事業推進に向けて検討を行った。 ・事業周知を行うため、出張相談等の新規事業を実施した。	
14	なんでも福祉相談員数 (C層)	360名			500名	2025	380名		ある程度達成	76.0%	ある程度達成	・相談員が安心して相談を受けられるよう、法律相談事業を開始した。	
15		第三者評価事業評価機関数	3か所			8か所	2025	4か所		不十分	50.0%	不十分	・事業継続ならびに第三者評価の普及・啓発に向けあり方検討会を実施した。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「ある程度達成」60～80%未満、「不十分」60%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時(2020)の現状		2025年度目標		実績	策定時との比較	達成率	評価 ※	2021年度の具体的な取組
					数値	年度	数値	年度					
16	I 包括的な支援体制の構築	2 市町村における総合的な相談支援体制の強化	(3) 社会福祉法人等の連携強化	第三者評価事業年間受審施設数	2か所	2025	16か所	2025	1 か所		6.3%	不十分	・評価件数増加に向けて普及啓発セミナーを実施した。 ・事業継続並びに第三者評価の普及・啓発に向けたあり方検討会の結果を踏まえて対応する。
17				第三者評価事業受審施設累計数	85か所	2025	145か所	2025	86か所		59.3%	不十分	・同上
18	II 福祉人材の確保・育成・定着	1 福祉人材の確保に向けた取組の強化	(1) 福祉人材の確保に向けた取組の推進	就職者数	187名	2025	300名	2025	208名		69.3%	ある程度達成	・急募求人対象求職者への求人票の送付、キャリア支援専門員による事業所と求職者の仲介を行った。 ・就職相談会を県内各地で分散開催し、地域の人材で求人を充足できるように工夫した。
19				新規求職者数	1,501名	2025	2,350名	2025	1,521名		64.7%	ある程度達成	・ハローワークと共催した就職相談会の参加者について、マンパワーセンターの求職登録を必須とした。 ・ハローワーク前橋でマンパワーセンターへの求職登録の協力を得ることができた。 ・求職登録について、今後はメディアやフリーペーパー等の媒体を活用し、認知度向上を図る。
20				求職相談数	3,916件	2025	4,674件	2025	3,455件		73.9%	ある程度達成	・対面での相談や求職登録の際に相談者の希望を聞き取り、対応する求人票やイベント等に関する情報提供を行った。また、施設見学等の調整をしたり、履歴書・職務経歴書等の応募書類の書き方や面接に関する指導を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、窓口閉鎖やイベント中止により前年度実績が下がった。 (5/17～6/15、8/9～8/31・9/1～9/30、2/1～2/7)
21				介護福祉士登録数	331名	2025	497名	2025	370名		74.4%	ある程度達成	・今年度の新規届出者45名。 ・介護関係資格保有者向けのイベントを計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。
22				保育士登録数	22名	2025	388名	2025	28名		7.2%	不十分	・保育士・保育所支援プロジェクトを開始し、県私学・子育て支援課から潜在保育士あてに案内を送付した（届出については未周知）。 ・登録の周知を強化する。（チラシの作成、養成校・保育3団体・ハローワークへの周知依頼、イベント・事業所訪問）

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「不十分」60～80%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時(2020)の現状		2025年度目標		策定時との比較	達成率	評価 ※	2021年度の具体的な取組
					数値	現状	数値	年度				
23	II 福祉人材の確保・育成・定着	I 福祉人材の確保に向けた取組の強化	(I) 福祉人材の確保に向けた取組の推進	福祉の仕事相談会参加者数	269名		404名	2025		71.3%	ある程度達成	・就職相談会をハローワークと共催した。 ・今後は就職に結びつくよう参加者へのフォローを行う。
24				LINE登録者数	2021年度開始		320名	2025		73.1%	ある程度達成	・チラシを作成しハローワークに周知依頼を行うとともに、イベント等の資料に同封した。
25				介護福祉士修学資金貸付事業	101名		144名	2025		52.8%	不十分	・県内の介護福祉士養成校に対し、周知と希望調査を行った。 ・外国人留学生が新型コロナウイルスの影響で入国できず利用者が低迷している。 ・今後は養成校との連絡会議を通じて、利用者の増加につなげる。
26				介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業	61名		82名	2025	達成	148.8%	達成	・養成校職員と連絡をよく取り、事業説明と周知依頼を行った。
27				離職した介護人材の再就職準備金貸付事業	31名		78名	2025		34.6%	不十分	・マンパワーセンターでのイベント等でチラシを配付した。来所した求職者に対して直接説明を行った。 ・就職面接会の参加者や県外からの移住希望者向け広報に力を入れ利用者増加につなげる。
28				介護分野就職支援金貸付事業	2021年度開始		85名	2025		15.3%	不十分	・ハローワークや県内研修実施機関、困窮事業実施機関等へチラシや案内を配付した。人材バンク職員への事業説明を行った。 ・福祉ぐんまに事業概要を掲載した。
29				障害福祉分野就職支援金貸付事業	2021年度開始		17名	2025		0.0%	不十分	・ハローワークや県内研修実施機関、困窮事業実施機関等へチラシや案内を配付した。福祉ぐんまに事業概要を掲載した。 ・今後は種別協を理由として対象事業所へ案内し、広く求職者の利用を進める。
30				保育士修学資金貸付事業	43名 (2019年度)		140名	2025		25.7%	不十分	・入学予定者へ案内するため、養成校へチラシや概要を送付し周知を依頼した。 ・令和3年度より募集方法の変更（高校生募集を廃止し養成校のみとなったこと）を、養成校と対象者に周知し利用につなげる。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「ある程度達成」60～80%未満、「不十分」60%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	2025年度目標		実績	策定時との比較	達成率	評価 ※	2021年度の具体的な取組
					数値	年度					
31	Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着	1 福祉人材の確保に向けた取組の強化	(1) 福祉人材の確保に向けた取組の推進	潜在保育士就職準備金貸付事業	61名	2025	6名		9.8%	不十分	・チラシによる広報を行うとともに、フリーペーパーへ制度の案内を掲載した。 ・ほいくしカフェや保育士向け就職相談会の開催を通じて情報を発信する。
32		2 福祉人材の育成・定着に向けた取組の強化	(1) 福祉人材の育成・定着に向けた取組の推進	福祉従事者向け研修参加者数	1,140名	2025	1,334名	達成	117.0%	達成	【階層別研修 ZOOM実施】 ・新任（7日程）220人 ・中堅（6日程）223人 ・リーダー（2日程）113名 【福祉マネジメント力を高める研修】 ・リスキーマネジメント（動画配信）643回 ・理事・評議員・施設長（Zoom）135人
33	Ⅲ 災害福祉支援体制の強化	1 災害に備えた体制の整備	(1) 災害福祉支援ネットワークの機能強化	ソウエルクラブ加入法人数	123法人	2025	100法人		81.3%	ほぼ達成	・種別協を通し加入法人に通知（問い合わせ2件）した。 ・福利厚生センターとの合同訪問（5件）個別訪問（25件） ・コロナ感染症の影響で令和2年度の会員交流事業が中止となり、3法人が退会となった。 ・事業を充実させ、求人事業所等に積極的に働きかけ会員増加につなげる。
34				「災害時の相互応援に関する基本協定」に基づく図上訓練の継続実施	10地区（累計）	2025	6地区（累計）		60.0%	ある程度達成	・新たに前橋市内の浸水被害を想定した訓練を実施した。
35				モデルBCP策定検討会の継続実施	20法人（累計）	2025	7法人（累計）		35.0%	不十分	・1期の3法人に加え、2期の4法人の策定が終了した。 3期の4法人は策定中
36				BCP策定アドバイザーの派遣事業にかかわるアドバイザー養成	20名（累計）	2025	8名（累計）		40.0%	不十分	・モデル1期・2期合わせて、7法人・8名のアドバイザーを養成し、3期のモデル策定をサポートしていく。
37				モデル福祉避難所立ち上げ訓練の計画・実施	5か所（累計）	2025	1か所		20.0%	不十分	・福祉避難所指定施設における初動訓練を実施した。
38				市町村を対象とした福祉避難所運営訓練や研修の実施	12圏域（累計）	2025	5圏域（累計）		41.7%	不十分	・安中圏域にて、モデル立ち上げ訓練と一緒に実施した他、東部県民局、甘楽・富岡県民局と共催により、太田、富岡での開催拡大を行った。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「ある程度達成」60～80%未満、「不十分」60%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時(2020)の現状	2025年度目標		2021年度					
					数値	年度	実績	策定時との比較	達成率	評価 ※			
39	Ⅲ 災害福祉支援体制の強化	1 災害に備えた体制の整備	(2) 災害派遣福祉チーム（ぐんまDWAT）の機能強化	保健所圏域単位での保健・医療分野との合同訓練や研修の実施	3圏域（累計）	2025	12圏域（累計）	2025	5圏域（累計）		41.7%	不十分	・新たに、太田、安中の2圏域で合同研修やシミュレーションを実施した。
40				ぐんまDWAT登録者数の確保・維持、質の向上	236名	2025	250名	2025	253名	達成	101.2%	達成	・DWAT（4期生）の登録研修を実施した。
41				災害福祉コーディネーター（仮称）の育成	2021年度開始	2025	12名	2025	5名		41.7%	不十分	・DWATより、災害医療コーディネーター研修を5名が受講するとともに、保健所圏域の訓練等への参加を行った。
42				社協の災害ボランティアセンターと連携した訓練の実施	2021年度開始	2025	5地区	2025	1地区		20.0%	不十分	・安中市社協と一緒にDWAT派遣シミュレーションを行い、避難所運営における生活支援ボランティアとのマッチング訓練を実施した。
43		2 災害ボランティア活動への支援	(1) 多様な災害ボランティア関係団体との連携	ぐんまDWATの専門性向上のための分野別研究会や訓練の実施	高齢者:3回 障害者:3回 子ども・女性:3回（累計）	2025	高齢者:16回 障害者:16回 子ども・女性:16回（累計）	2025	高齢者:7回 障害者:8回 子ども・女性:7回（累計）		45.8%	不十分	・研究会の継続協議を行い、研究協議内容をDWAT派遣シミュレーションに盛り込み、実施した。
44				市町村を対象とした避難所運営訓練や研修の実施	2圏域（累計）	2025	12圏域（累計）	2025	5圏域（累計）		41.7%	不十分	・新たに、太田、安中、富岡の3圏域で合同研修やシミュレーションを実施した。
45				災害支援に関する会議、研修会の参加団体数の増加（多様な関係機関・団体とのネットワークづくり）	市町村社協:27 関係機関:23 合計:50団体	2025	市町村社協:35 関係機関:35 合計:70団体	2025	市町村社協31 関係機関43 合計:74団体	達成	105.7%	達成	・市町村における災害V Cの設置・運営強化のため、「協同型災害V C運営者養成研修会」（2日間）を実施した。
46				市町村行政と市町村社協の協定の締結	5か所（累計）	2025	13か所（累計）	2025	15か所（累計）	達成	115.4%	達成	・令和2年以前に5市町村で協定を締結済み 令和3年度締結10市町村で協定締結を行った。 ・市町村社協への情報提供・支援を行った。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「不十分」60%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時(2020)の現状		2025年度目標		2021年度			
					数値	年度	数値	年度	実績	策定時との比較	達成率	評価 ※
47	Ⅲ災害福祉支援体制の強化	2 災害ボランティア活動への支援	(1) 多様な災害ボランティア団体との連携	青年会議所と市町村社協の協定の締結	1地区 (累計)	2025	6地区 (累計)	2025	6地区 (累計)	達成	100%	達成
48				ぐんまDWATや福祉専門職等との連携した合同訓練の実施	2021年度開始	2025	5か所	2025	1か所		20.0%	不十分
49			(2) 災害ボランティアセンターの運営支援	市町村災害ボランティアセンターの設置・運営支援(市町村災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施か所)	市:12か所 町村:1か所 (累計)	2025	市:12か所 町村:6か所 (累計)	2025	市:12か所 町村:1か所 (累計)		72.2% ある程度達成	ある程度達成
50				市町村災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの作成支援	15か所 (累計)	2025	35か所 (累計)	2025	15か所 (累計)		42.9%	不十分
51				市町村社協BCP策定支援	10か所 (累計)	2025	35か所 (累計)	2025	12か所 (累計)		30.0%	不十分
52				地域における避難行動要支援者見守り推進事業の推進	2021年度開始	2025	6か所 (累計)	2025	3か所 (累計)		50.0%	不十分
53		3 新型コロナウイルス等の感染症に 対応した体制の整備	(1) 感染症発生時の 社会福祉施設への支援	感染症対策モデルBCP策定支援	3法人 (累計)	2025	20法人 (累計)	2025	8法人 (累計)		40.0%	不十分
54				応援職員の追加募集によるマンパワーの確保	高齢156事業所 障害 85事業所	2025	高齢200事業所 障害100事業所	2025	高齢158事業所 障害 88事業所		82.0%	ほぼ達成

・令和2年度以前に1市社協で協定を締結済み
令和3年度に5地区で協定締結を行った。
・県の青年会議所との協議、協定締結に向けた市町村社協への情報提供や働きかけを行った。

・群馬県総合防災訓練はコロナウイルスの影響により中止。
・BCP初動訓練(安中市主催)をぐんまDWATと連携して実施した。

・県社協にて協働型災害ボランティアセンター運営者養成研修を開催し、次年度以降の市町村単位での実施方法について指導した。
・群馬県総合防災訓練はコロナウイルスの影響により中止。
・災害V C設置訓練(前橋市社協主催)への参加と、他市町村社協への周知(21名参加)
・コロナウイルス感染症の影響により、訓練等が中止となったため

・2社協(前橋市、大泉町)へのマニュアルの更新、作成にかかる情報提供と支援を行った。

・2社協(昭和村、安中市)での策定。
・市町村社協BCP策定研修会、BCP推進事業助成を通して支援等を行った。

・3か所(沼田市社協、太田市社協、館林市社協)の事業指定と支援を行うことができた。

・感染症対応訓練実施法人への策定支援を実施した。

・事業所に情報提供を行い、登録事業所の拡大を図った。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「ある程度達成」60～80%未満、「不十分」60%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的な アクション	項目	策定時(2020)の 現状		2025年度目標		2021年度			
					数値	数値	年度	実績	策定時との 比較	達成率	評価 ※	2021年度の具体的な取組
55	Ⅲ災害福祉 支援体制の 強化	3新型コロナウイルス 等の感染症 に対応した 体制の整備	(1) 感染 症発生時の 社会福祉施 設への支援	応援職員の専門性向 上のための研修会の 実施	高齢:3回 障害:2回 (累計)	高齢:10回 障害:10回 (累計)	2025	高齢:4回 障害:6回 (累計)		50.0%	不十分	・ 平時の対策メインの研修を障害分野で2回実施し た他、高齢・障害ともに自己学習会として動画視 聴の研修会を追加開催した。
56				応援派遣を想定した 図上訓練の実施	2021年度開始	5地区 (累計)	2025	1地区 (累計)		20.0%	不十分	・ BCPに照らした感染症対応訓練をオンラインにて 実施した。
57				コロナ禍での避難所 運営研修の実施	2021年度開始	12圏域 (累計)	2025	4圏域 (累計)		33.3%	不十分	・ 保健福祉事務所と連携して、太田、館林、富岡 での研修会、安中で派遣シミュレーションを実施 した。
58			(2) 感染 症予防に向 けた取組の 強化	コロナ禍での災害ボ ランティアセンタ ーの設置・運営研 修(市町村災害ボ ランティアセンタ ー設置・運営訓練)	2021年度開始	5か所	2025	1か所		20.0%	不十分	・ 群馬県総合防災訓練はコロナウイルスの影響に より中止 ・ 県社協にて協働型災害ボランティアセンタ―運 営者養成研修(再掲)を開催し、感染予防をしな がらの災害ボランティアセンターの運営方法につ いて指導した。 ・ 災害V C設置訓練(前橋市社協主催)にて、コ ロナ禍を想定した災害V C設置訓練を実施するこ とができた。
59				ICT(SNSやオンライ ン)を活用した情報 共有会議の実施	2021年度開始	5か所	2025	1か所		20.0%	不十分	・ 群馬県総合防災訓練はコロナウイルスの影響に より中止。 ・ 災害V C設置訓練(前橋市社協主催)における I C Tの活用を行った。
60				社会福祉士資格取得 割合	39.3% (13名/33名中)	70%以上 (24名/33名中)	2025	36.4% (12名/33名)		36.4%	その他	・ プロバ-職員32名中、12名が資格取得者 ・ 資格を持つ職員が退職したため割合が下がっ た。 ・ 資格取得に2年かかるため
61	Ⅳ県社協の 組織基盤の 強化	1組織体制 の強化	(1) 人材 育成の強化	自己啓発助成制度の 活用	3件 (2016～2020年 度)	10件	2025	5件		50.0%	不十分	・ 研修受講希望者に対し、助成金の利用が可能で あることを個別に説明。
62				人事評価制度の導入	試行的に実施	―	2023	試行実施 ・ 目標管理 ・ 能力評価		―	その他	・ 職員研修会を開催するとともに、県の仕組みを 準用し、試行的に実施をした。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「不十分」60～80%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時(2020)の現状		2025年度目標		策定時との比較	達成率	評価 ※	2021年度の具体的な取組
					数値	現状	数値	年度				
63	IV 県社協の組織基盤の強化	1 組織体制の強化	(2) 働き方改革の推進	衛生委員会等の機能充実	12回		24回	2025		91.7%	ほぼ達成	・8月から産業界を変更し、新たな体制で衛生委員会や個別指導、巡回指導を実施した。
64				職員の年間平均有給休暇の取得数	9.6日 (49.6%)		14日 (70%)	2025		57.1%	不十分	・定期的に有給休暇の取得状況を確認し、積極的な取得への呼びかけを行った。 前年比-16.7% ・新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付やwithコロナのための環境整備等により、前年度実績を下回った。
65				職員一人あたりの年間平均時間外勤務時間数	101時間 (2017～2020年度平均)		75時間	2025		-	不十分	・時間外申請時に業務内容の確認を行い、時間外の実態把握を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付やwithコロナのための環境整備等により、前年度実績を下回った。
66				職員一人あたりのテレワーク目標日数	2021年度開始		週2日	2025		7.0%	不十分	・これまで、ノートPCとWi-Fiルーターを完備し、テレワークの環境整備を図ってきたが、今年度は台数を増やし、一層の環境整備を行った。
67				男性職員の育児休業等取得率	0% (2018～2020年度)		対象者の50%	2025	達成	100.0%	達成	・対象となる職員に制度について説明を実施するとともに、所属する課においても業務の調整等を行った。3名中3名が取得した。
68				男性職員の産休5日以上の取得	0% (2018～2020年度)		対象者の100%	2025		50.0%	不十分	・対象となる職員に制度について説明を実施するとともに、担当課でも業務の調整等を行った。2名中1名が取得した。
69				ホームページの年間閲覧数	(2017年度) 103,735件 (2018年度) 93,155件 (2019年度) 120,475件 (2020年度) 170,104件		187,000件	2025	達成	115.1%	達成	・県域の福祉情報の発信をはじめ、生活福祉資金や各種研修等の情報発信といった閲覧者が求める情報について、動画配信等も含めて対応ができるような仕様でホームページの運用を行った。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「ある程度達成」60～80%未満、「不十分」60%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時(2020)の現状		2025年度目標		策定時との比較	達成率	評価 ※	2021年度の具体的な取組
					数値	年度	数値	年度				
70	IV 県社協の組織基盤の強化	1 組織体制の強化	(3) 情報発信の強化	多様な広報媒体の活用	媒体数3件 ・福祉ぐんま(機関誌) ・ホームページ ・YouTube	2023	広報媒体6件 福祉ぐんま ホームページ YouTube LINE Facebook その他			66.7%	ある程度達成	- 福祉マンパワーセンターにおける求人情報発信ツールとして、LINEの導入を行った。 - また、災害時等に活用できるよう、Facebookの導入に向けた検討を行う。
71		2 経営基盤の強化	(1) 財政基盤の強化と既存事業の見直し	会 員 数	5,431か所 ①児童福祉施設の入会(410か所/631か所) ②高齢福祉施設の入会(222か所/270か所) ③障害福祉施設の入会(53か所/59か所)	2025	5,474か所 ①児童福祉施設の入会(430か所/631か所) ②高齢福祉施設の入会(242か所/270か所) ③障害福祉施設の入会(56か所/59か所)			①児童福祉施設(+1) 2か所入会 1か所退会 ②高齢福祉施設(-4) 0か所入会 4か所退会 ③障害福祉施設(+0) 0か所入会 0か所退会	ほぼ達成	- 新設された施設の情報を得て、会員の説明と入会依頼を行った。 - 退会を検討されている団体への説明と保留対応の促進を行った。 - コロナ禍による経営難や事業所廃止、福祉パスの利用ができないなどの理由で、退会者が増加した。
72				特別賛助会員数	1か所	2025	2か所			18.2%	不十分	取引のある民間企業等に対し、個別に説明を実施した。
73				バナー広告	1か所	2025	7か所			63.6%	ある程度達成	2021年度1月時点で7か所（内訳：社団1、社福1、株式会社4、学法1）の広告数
74				封筒広告	2021年度開始	2025	封筒広告掲載要綱の制定と案内の実施			0.0%	不十分	封筒広告掲載要綱を定め、掲載事業所獲得のための呼びかけを行う。（今後の予定）

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「ある程度達成」60～80%未満、「不十分」60%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時(2020)の現状		2025年度目標		実績	策定時との比較	達成率	評価 ※	2021年度の具体的な取組
					数値	年度	数値	年度					
75	IV県社協の組織基盤の強化	2経営基盤の強化	(2) ガバナンスの強化	会計専門家による外部検査の継続実施	4回	2025	4回	2025	4回	達成	100.0%	達成	・四半期ごとに、税理士による会計検査を実施した。
76				全社協経理研修	(中級) 7人 (21.2%) (初級) 21人 (63.6%) (累計)	2025	(中級) 17人 (51.5%) (初級) 33人 (100%) (累計)	2025	(中級) 10人 (30.3%) (初級) 21人 (69.7%) (累計)	 	(中級) 30.3% (初級) 63.6%	達成 不十分	・受講該当者については、順次調整の上で申込をし、漏れなく受講するよう指示をした。 初任者については対象となる職員がいなかった。
77				市町村社協部会	2回	2025	2回	2025	2回	達成	100.0%	達成	・市町村社協会長会と同時開催をした。
78			(3) 関係団体との連携強化	民生委員児童委員部会	群馬県民生委員児童委員協議会として活動	2025	—	2025	—	—	—	—	—
79				経営者部会	群馬県社会福祉法人経営者協議会として活動	2025	—	2025	—	—	—	—	—
80				障害福祉部会	2回	2025	2回	2025	4回	達成	200.0%	達成	・9つの種別協議会間で情報交換等を実施した。
81				高齢福祉部会	0回	2025	2回	2025	0回		0.0%	不十分	・2つの種別協議会間で構成されているが、令和3年度は未実施であった。
82				子ども福祉部会	2回	2025	2回	2025	2回	達成	100.0%	達成	・6つの種別協議会間で情報交換等を実施した。
83				ボランティア・市民活動部会	0回	2025	2回	2025	0回		0.0%	不十分	・3つの種別協議会間で構成されているが、令和3年度は未実施であった。 ・ぐんまボランティア・市民活動支援センター運営委員会やぐんまボランティアフォーラムの中で情報共有は図れた。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度） 評価一覧

※ 評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

【評価基準】「達成」達成率100%以上、「ほぼ達成」80～100%未満、「ある程度達成」60～80%未満、「不十分」60%未満、「その他」実績不明など

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時(2020)の現状	2025年度目標		2021年度				
					数値	年度	実績	策定時との比較	達成率	評価 ※	2021年度の具体的な取組	
84	IV県社協の組織基盤の強化	2経営基盤の強化	(3)関係団体との連携強化	更生保護部会	群馬県保護司会連合会として活動	—	2025	—	—	—	—	—
85				部会を横断した連携や協議	1回	1回	2025	0回		0.0%	不十分	・県社協の部会・分科会構成団体等に対し、各種情報の提供や予算要望等のとりまとめを行った。 ・全体で集合しての研修・情報交換会は、コロナウィルス感染拡大防止の観点から実施を見送った。